



氏夫 秀 井 中



竹内 亥久男 氏



中川 重治 氏



武市 秀雄 氏

現住所 小樽市稻穂町西六ノ一

趣味 野球、スキイ

生年月日 明治四十五年四年二十九日  
略歴 昭和十年六月十四日入社

原籍地 小樽市梅ヶ枝町四四

現住所 小樽市稻穂町西三ノ二一

生年月日 明治四十四年三月二十日  
略歴 北海商業學校卒後昭和九年入社

原籍地 小樽市

趣味

原籍地 鹿兒島縣姶良郡牧園村宿窪田二〇〇三  
生年月日 明治三十三年二月二十日  
略歴 專修大學四年修業大正十二年十月極東硝子工業會  
社會計課入社大正十四年三月大阪商船會社貨物掛  
二轉任昭和三年六月辭職昭和三年十一月北日本汽  
船會社事務補トシテ入社現在奉職中

現住所 福井縣敦賀町神樂四番地

趣味

原籍地 北海道余市郡仁木村  
生年月日 大正三年十月一日  
略歴 昭和十年二月入社



氏博 西 大



氏三 研 寺 奥



氏一 良 田 山 小



氏勝 直 岡 村

原籍地 小樽市末廣町六番地  
 生年月日 明治二十九年八月二十五日  
 略歴 昭和十一年五月十二日入社  
 現住所 小樽市富岡町二ノ一六

現住所 小樽市砂留町四七

生年月日 大正六年五月十二日

略歴 樽中卒業昭和十年七月二十日豊崎丸へ乗船  
 趣味 陸上競技、読書

原籍地 小樽市稻穂町西三ノ九  
 生年月日 大正六年四月十二日

略歴 北海商業學校卒業昭和九年六月入社  
 趣味

原籍地 小樽市豊川町三四  
 生年月日 昭和十二年一月八日入社

現住所 札幌市南十七條西五ノ三

生年月日 大正六年五月十二日

略歴 樽中卒業昭和十年七月二十日豊崎丸へ乗船  
 趣味 陸上競技、読書



氏一喜坂百八



氏精口山



氏一昌田山



原籍地 北海道札幌郡手稻村字輕川

生年月日 明治四十四年四月二十五日

略歴 昭和十年二月一日入社小樽高商卒業

現住所 札幌郡輕川  
趣味

原籍地 北海道岩内町橋町清住二  
生年月日 明治四十五年一月二十九日

略歴 昭和十年六月入社

趣味 讀書、旅行

現住所 本籍ニ同ジ

原籍地 仙臺市北一番町一〇五

生年月日 大正三年三月二十五日

略歴 商業學校卒業、昭和九年十月入社

趣味 音樂、讀書

現住所 原籍ニ同ジ

原籍地 室蘭市常盤町八八

生年月日 明治四十年三月二日

略歴 中學中途退學、運送店、炭鑄會社ニ就職、現在ニ  
至ル

趣味 スポーツ(但シ見ルダケ)映畫

現住所 小樽市山田町二八小坂方



氏夫 良野 淳



氏郎 次忠 杉小



氏馨 村藤



氏一 強岡

原籍地 愛媛縣喜多郡内子町甲千百一番地ノ第一  
 生年月日 大正二年六月一日  
 略歴 昭和九年八月入社  
 現住所 小樽市入舟町七丁目十一番地  
 趣味 園芸、小鳥

原籍地 東京府北多摩郡武藏野町吉祥寺七四七  
 生年月日 明治三十四年三月六日  
 略歴 昭和九年二月入社  
 現住所 音樂

原籍地 東京府北多摩郡武藏野町吉祥寺七四七  
 生年月日 明治三十四年三月六日  
 略歴 昭和九年二月入社  
 現住所 音樂



坂 田 光 男 氏



櫻 田 信 彦 氏



穴 田 忠 男 氏



安 藤 仁 郎 氏

原籍地 山形縣東村山郡長崎町

生年月日 大正六年九月十七日

略歴 昭和八年十一月十日入社

現住所 小樽市花園町東四ノ二十一番地

趣味 音樂

原籍地 札幌郡廣島村字廣島二十五

生年月日 大正六年三月二十八日

略歴 昭和十年五月入社

現住所

趣味

原籍地 小樽市綠町二丁目二六

生年月日 大正六年一月二日

略歴 昭和九年小樽商業卒業

三月北日本汽船株式會社入社

現住所 原籍同様

趣味 寫眞

原籍地 小樽市綠町二ノ二五

生年月日 明治四十三年七月五日

略歴 昭和十年四月入社今日ニ至ル

現住所 小樽市綠町一ノ一二



氏孝能由佐

現住所 高松市鹽上町七一七ノ二

趣味 スポーツ

生年月日 大正三年五月十日

原籍地 小樽市稻穂町東六ノ十七

現住所 原籍地ニ同ジ

趣味

略歴 昭和十二年一月八日入社

生年月日

原籍地 小樽市花園町西四ノ六



氏男謙川北



氏男忠島木

原籍地 小樽市稻穂町  
生年月日 明治四十二年八月五日  
略歴 昭和八年五月入社豊崎丸ニ乗船  
同年二月本船ニ乗船ス

現住所 满洲丸

趣味 スポーツ



氏平耕藤佐

原籍地 秋田縣由利郡矢島町七日町  
生年月日 明治四十三年六月六日  
略歴 昭和七年三月入社、桃園丸乗船、次テ宗像丸、第  
八御影丸、第三日清丸、とよひめ丸、紅海丸ヲ經  
テ今日ニ及ブ  
現住所 福井縣敦賀町曙八八  
趣味 レコード、音樂、スポーツ





宿田軍八郎氏



浦治三郎氏



浦三郎氏



美尾谷操氏

現住所 原籍ニ同ジ

原籍地 京都市小山北上總町六十五  
生年月日 明治三十七年三月七日

略歴 昭和五年慶應義塾大學卒業

現住所

原籍地 青森縣三戸郡館村大字梯引字一日市八十五番地  
生年月日 大正六年一月十三日

略歴 昭和十一年八月六日入社

趣味

原籍地 秋田市檜山飼刺町  
生年月日 大正五年八月十二日  
略歴 昭和十年三月十八日入社

現住所

趣味

原籍地  
生年月日  
略歴  
現住所



氏夫壽萬木鈴



氏雄雪野菅



氏雄利山和日



氏豊二從

原籍地 北海道松前郡福山町字川島町一七

生年月日 大正六年九月十九日

略歷 小樽市中學校卒業

現住所 小樽市松山町一番地

趣味

現住所

原籍地

生年月日

略歷

趣味

現住所

原籍地

生年月日

略歷

趣味

原籍地 小樽市富岡町三ノ三十

生年月日 大正四年一月三日

略歷 北海商業學校卒、昭和十一年四月二十七日

北日本入社

趣味 角力

現住所 原籍地ニ同ジ

原籍地 東京市本郷區向ヶ岡彌生町三番地

生年月日 大正六年六月二十一日

略歷 昭和十一年九月入社

趣味

現住所 小樽市若竹町二五番地

祝  
發  
刊

社長 林 岩 太 郎  
東洋炭業株式會社  
朝鮮雄基港

大阪市旭區城東線  
京橋驛前

阪本寫眞館

電話 旭 2176 番

半澤寫眞館

樺太敷香公會堂前  
電話 235 番

刊發祝



羽後丸水夫長  
長谷大藏  
小樽市稻穂町西八丁目

北洋丸火夫長  
山縣健志

日本海員組合組織部長  
小樽（元）市會議員

祝發刊木村唯作



# 刊發祝



豊崎丸火夫長

鶴谷作次郎

小樽市緑町一ノ一

紅海丸水夫長  
林定吉

小樽市緑町一丁目十二番地

# 刊發祝



天草丸火夫長

高島勝太郎

小樽市稻穂町東二丁目

羽後丸司厨長  
小林由造

栃木縣鹽谷郡熟田村  
狭間田九四七

# 刊發祝



交通丸水夫長

高橋富三郎

新潟縣北蒲原郡乙村字桃崎澤

島田英幸

神戶市林田區若松町四ノ七七

# 刊發祝



新高丸水夫長

山本新治郎

愛知縣知多郡師崎町大井

嘉義丸水夫長  
釋忠吾

# 刊發祝



鈴  
本  
間  
寅  
次  
郎

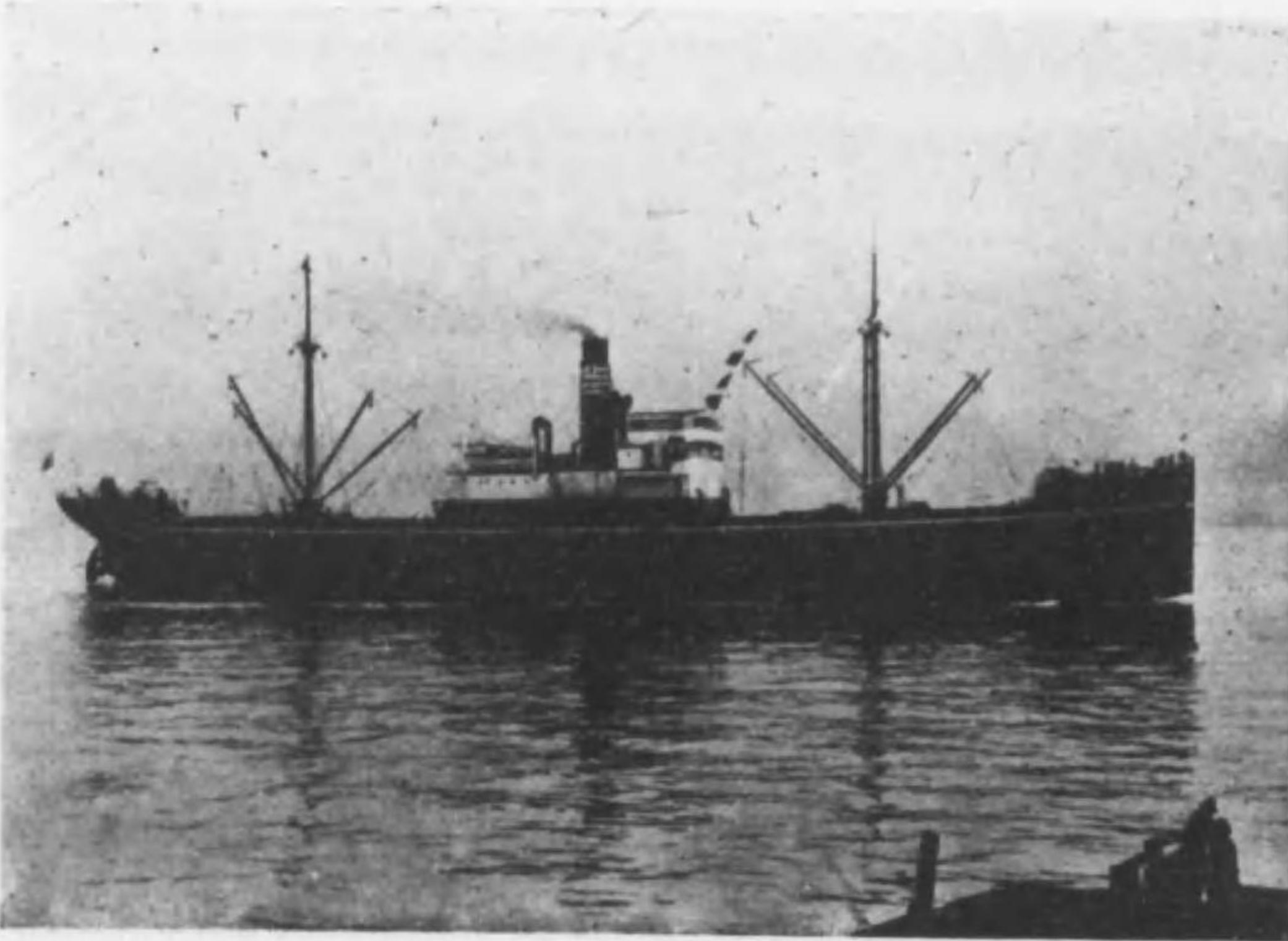
鈴  
谷  
丸  
松  
澤  
松  
太  
郎

# 刊發祝

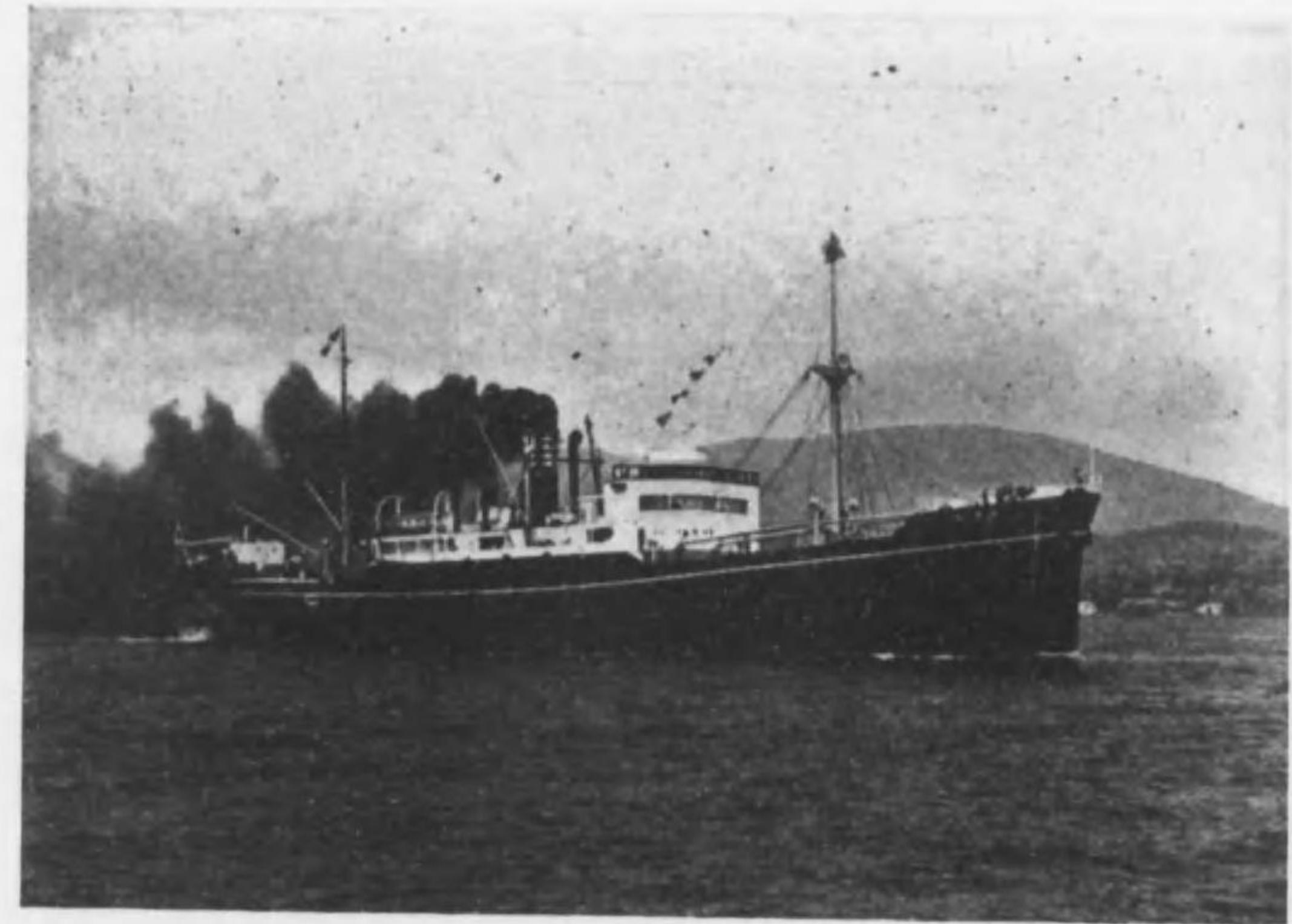


愛  
德  
丸  
火  
夫  
長  
  
柿  
澤  
映  
治  
  
豐  
崎  
丸  
金  
良  
作

靜岡縣濱名郡芝川村都盛九一三五



昭和11.11 (員組乗全と丸後羽)



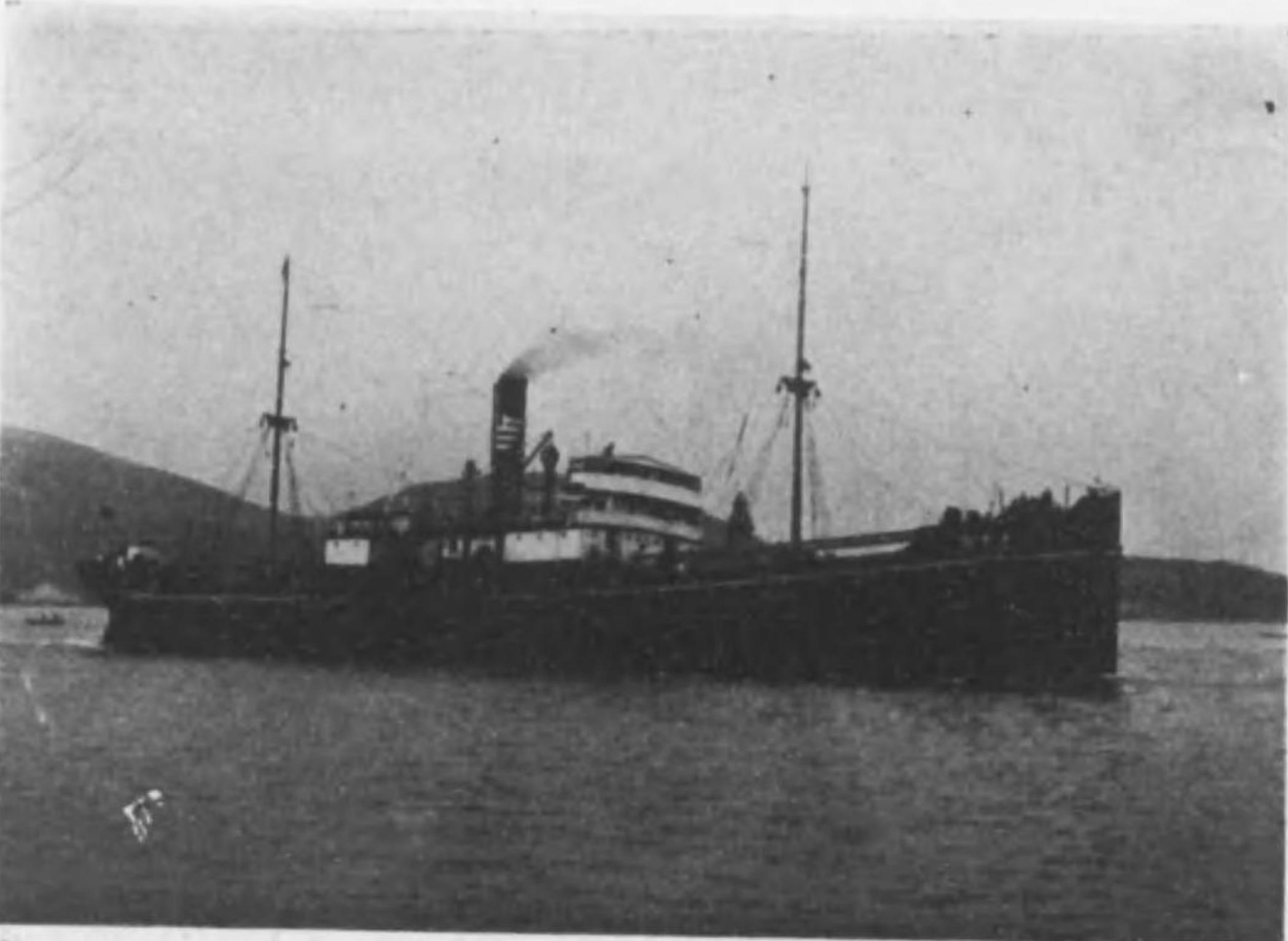
昭和11.11 (員組乗全と丸洋北)



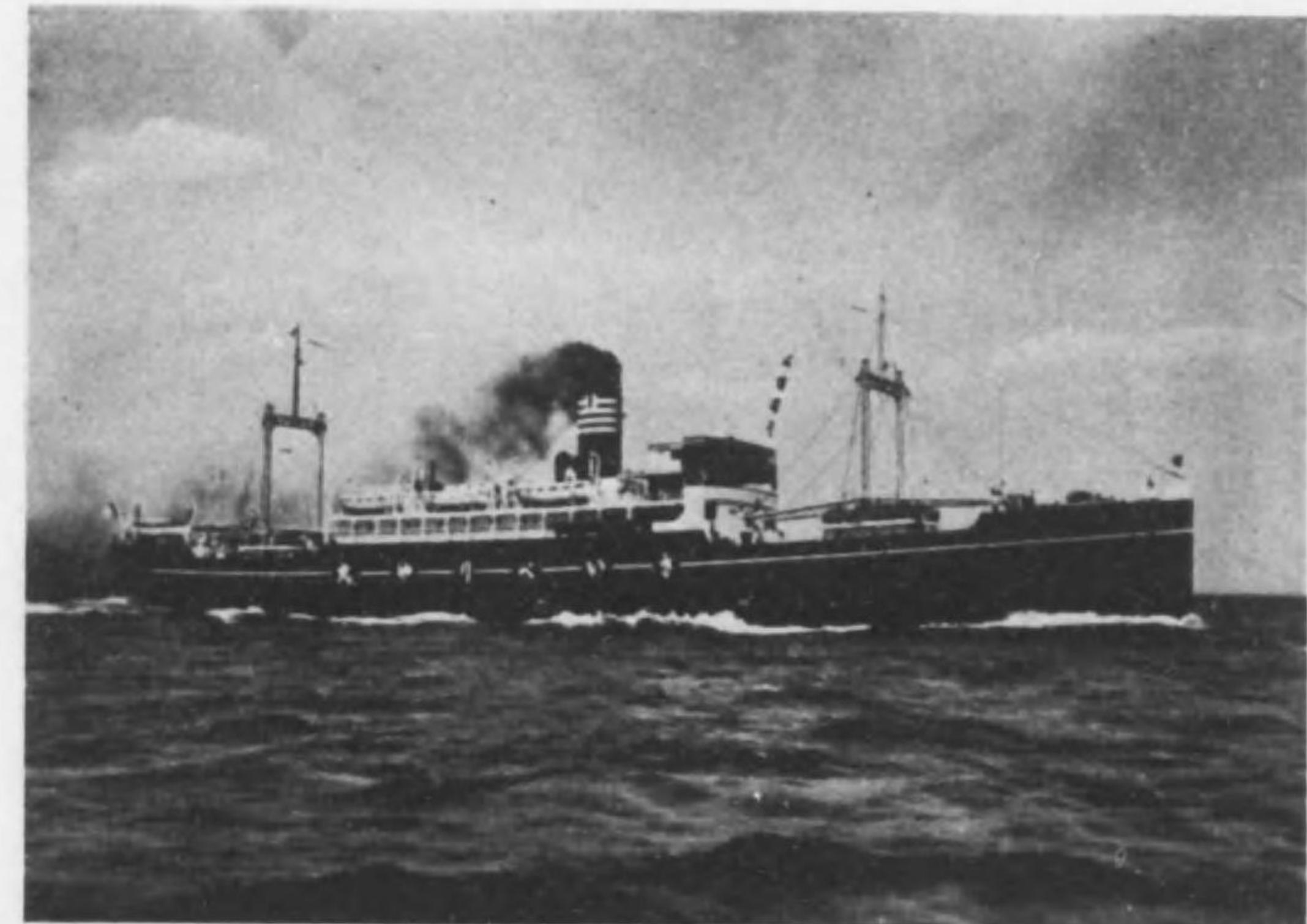
-216-



-215-



昭和11.10  
(員組乗全と丸福海)



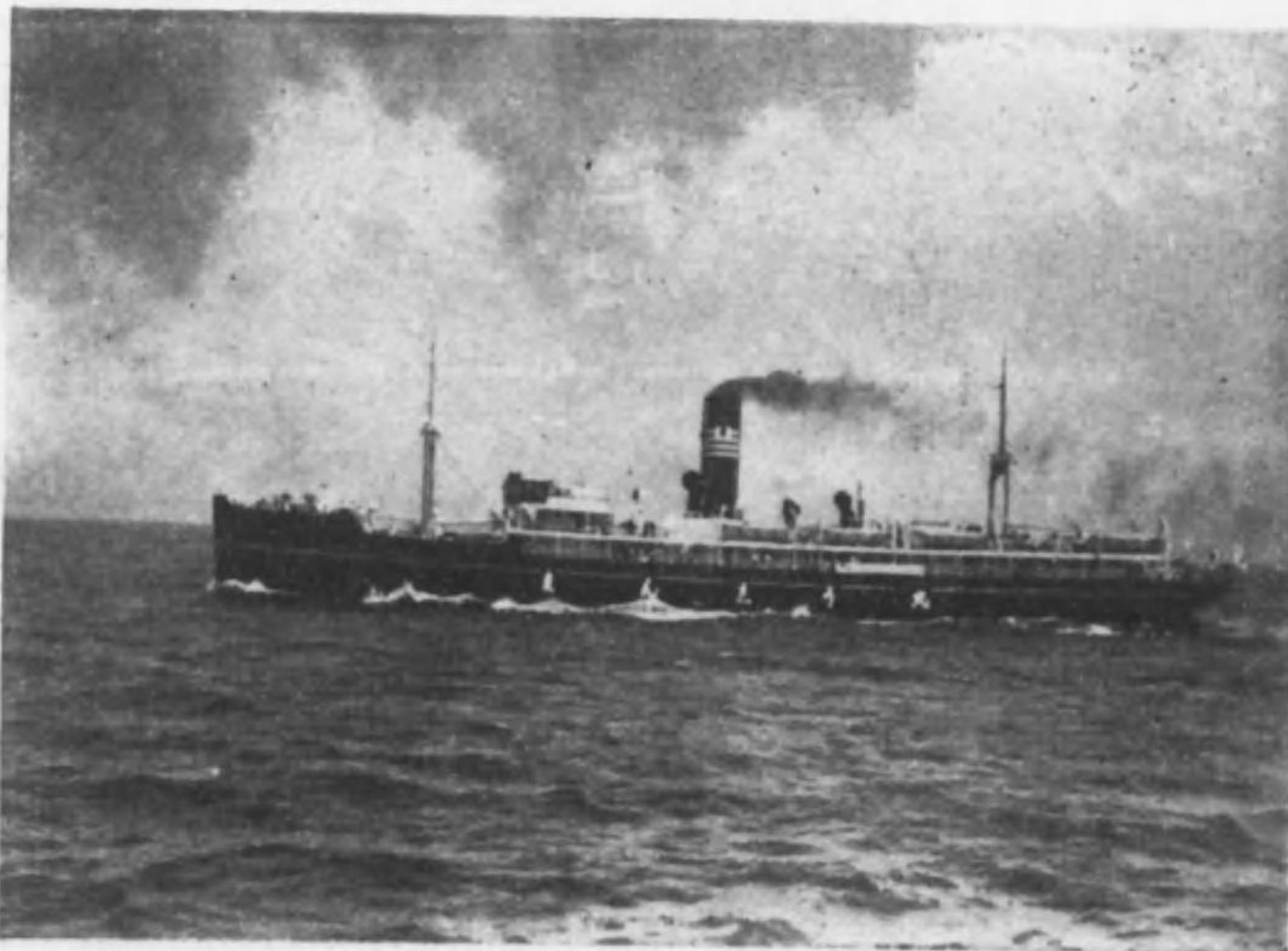
昭和11.11  
(員組乗全と丸やりべいさ)



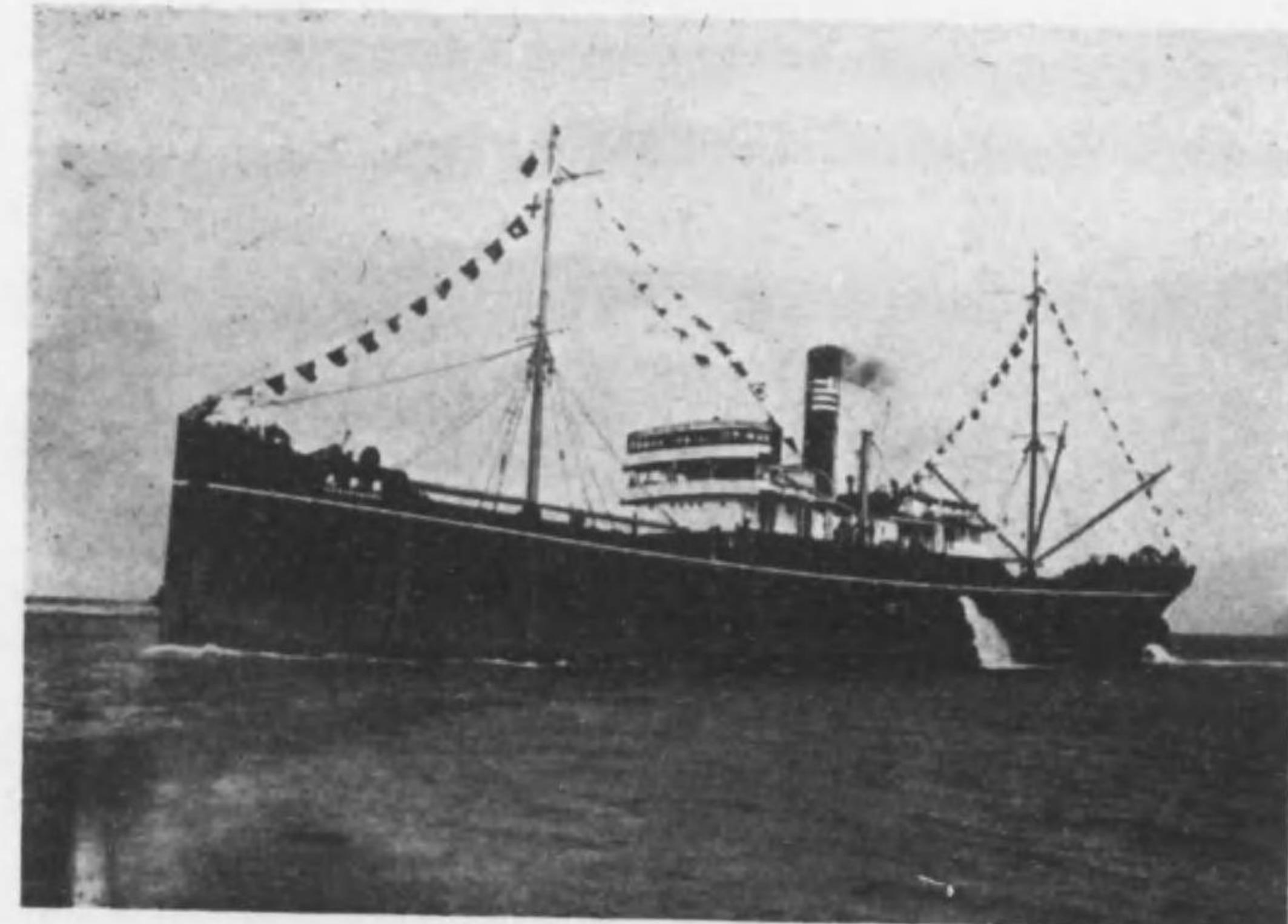
-218-



-217-



昭和11.11 (員組乗全と九州満)



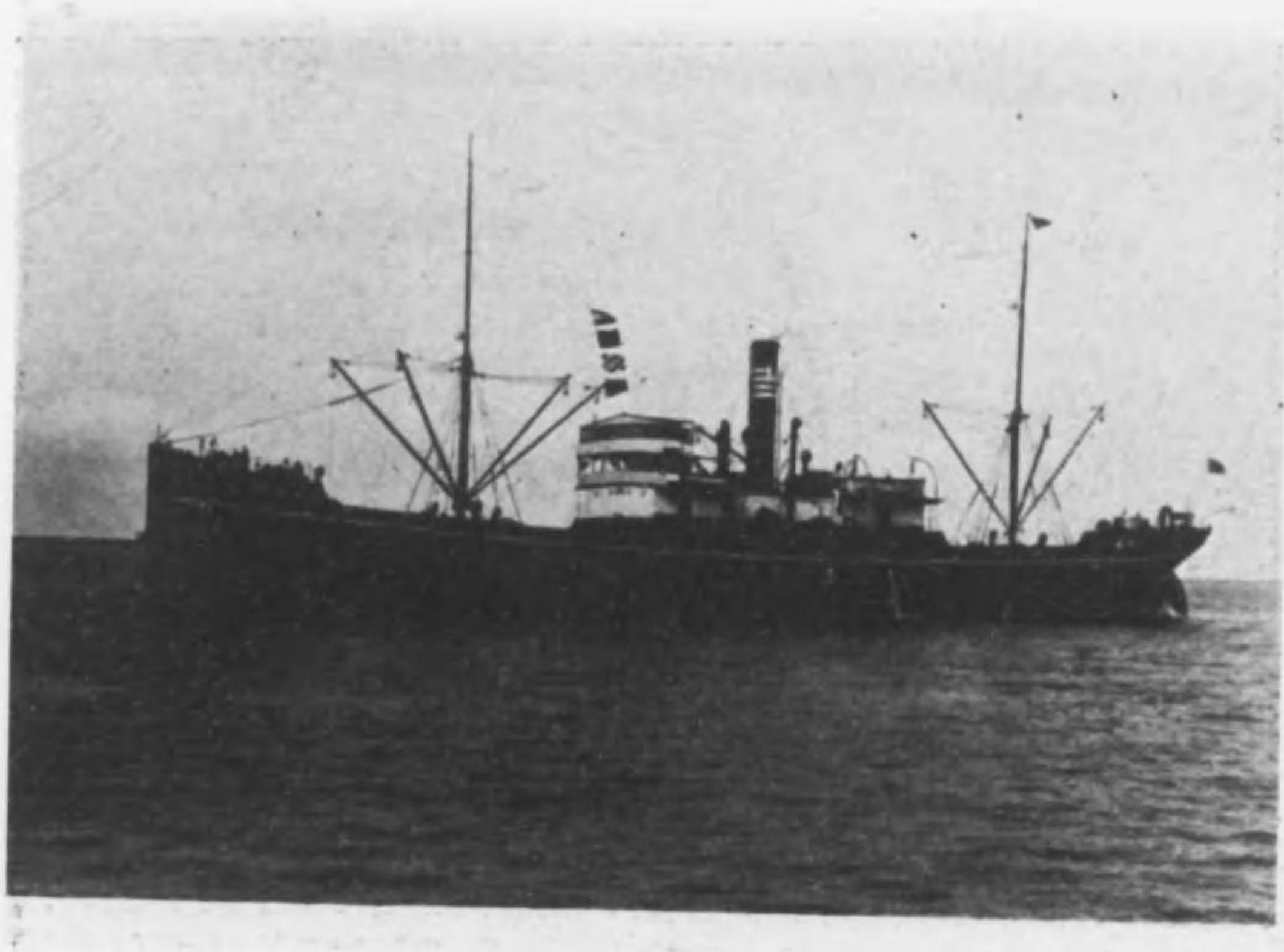
昭和11.10 (員組乗全と朝鮮丸)



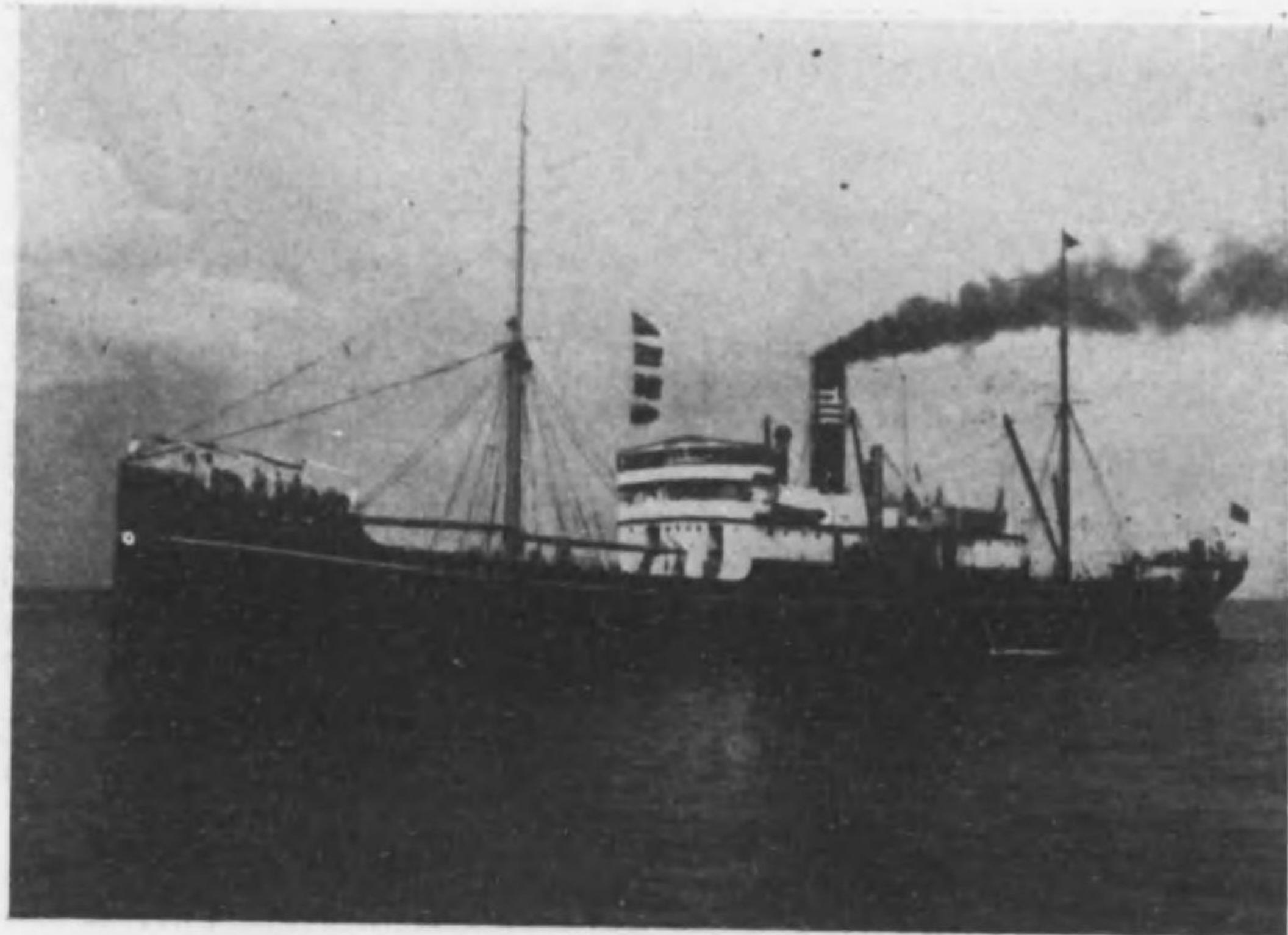
—220—



—219—



昭和11.12  
(員組乗全と丸南安)



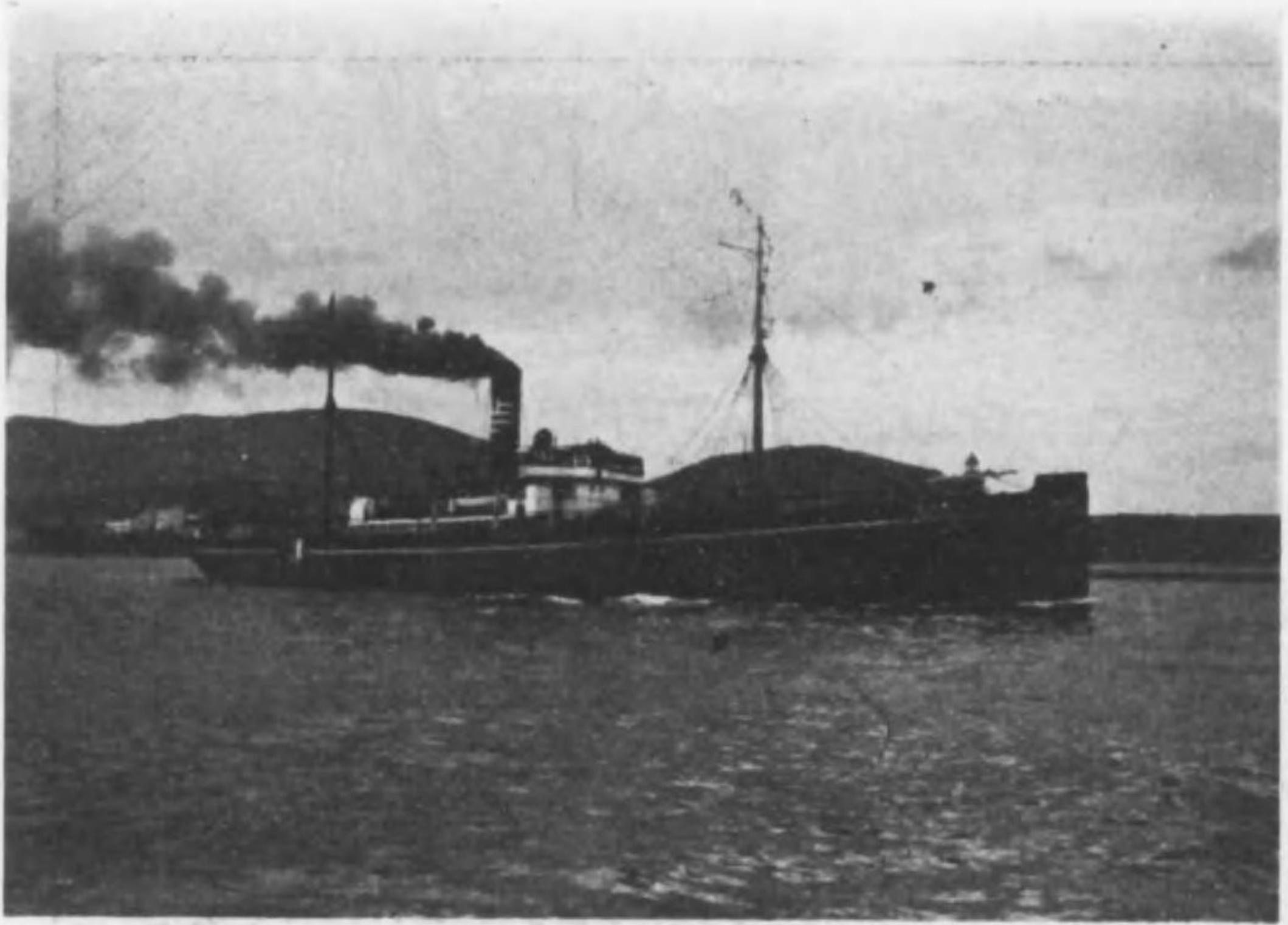
昭和11.10  
(員組乗全と丸京南)



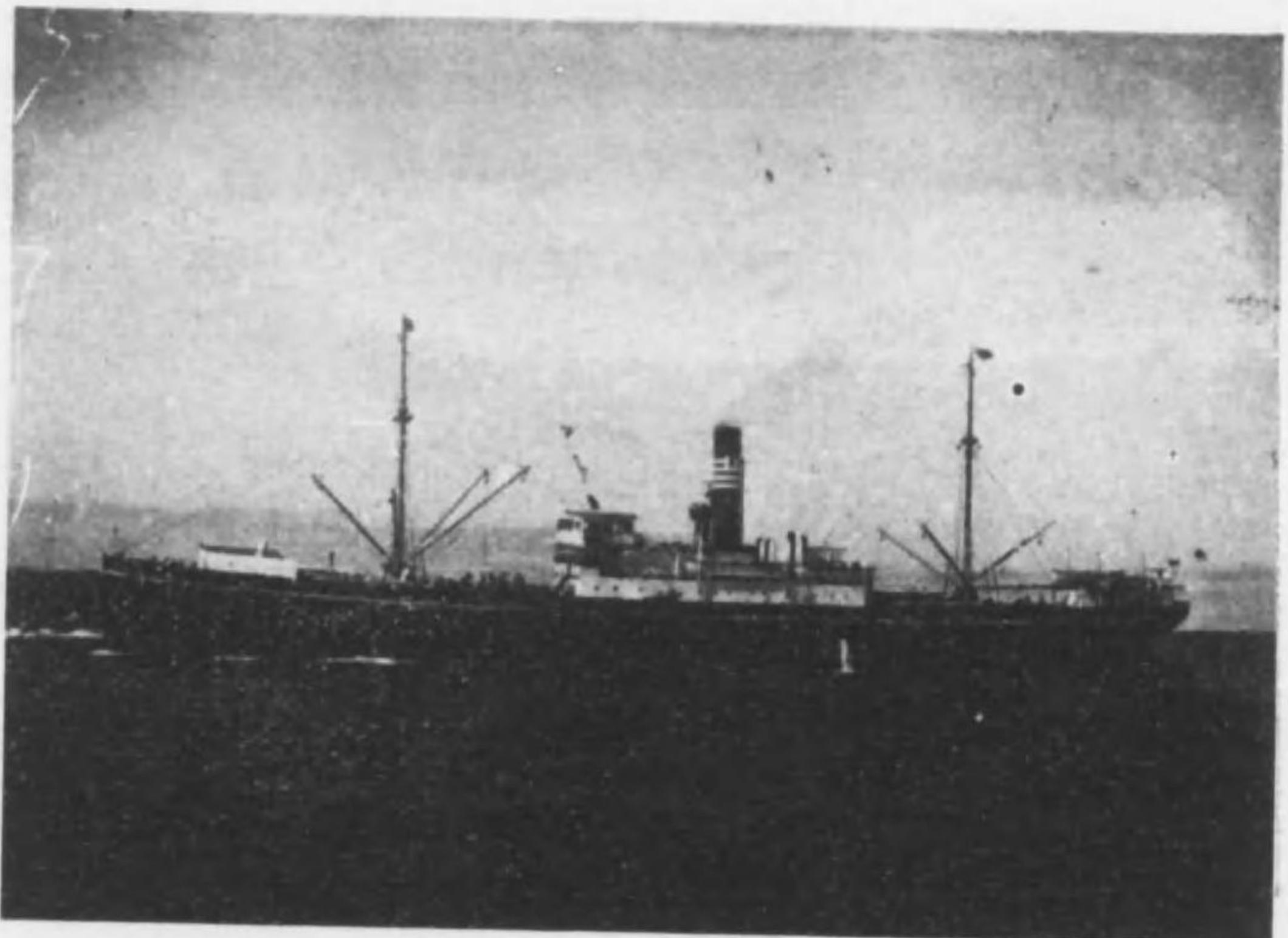
—222—



—221—



昭和11.12  
(員組乗全と丸前越)



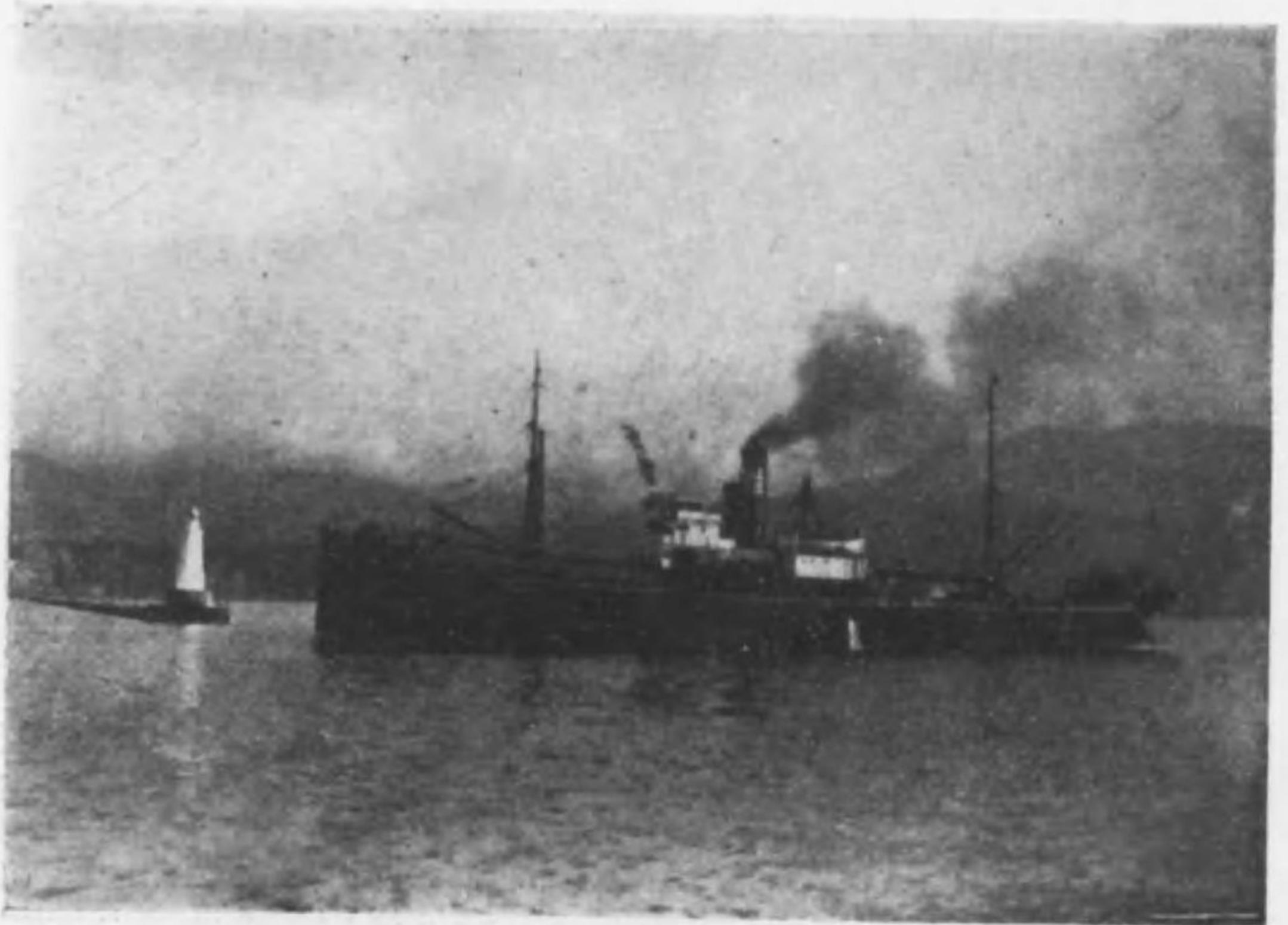
昭和11.11  
(員組乗全と丸高新)



—224—



—223—



昭和11.10  
(員組乗全と丸埼豊)



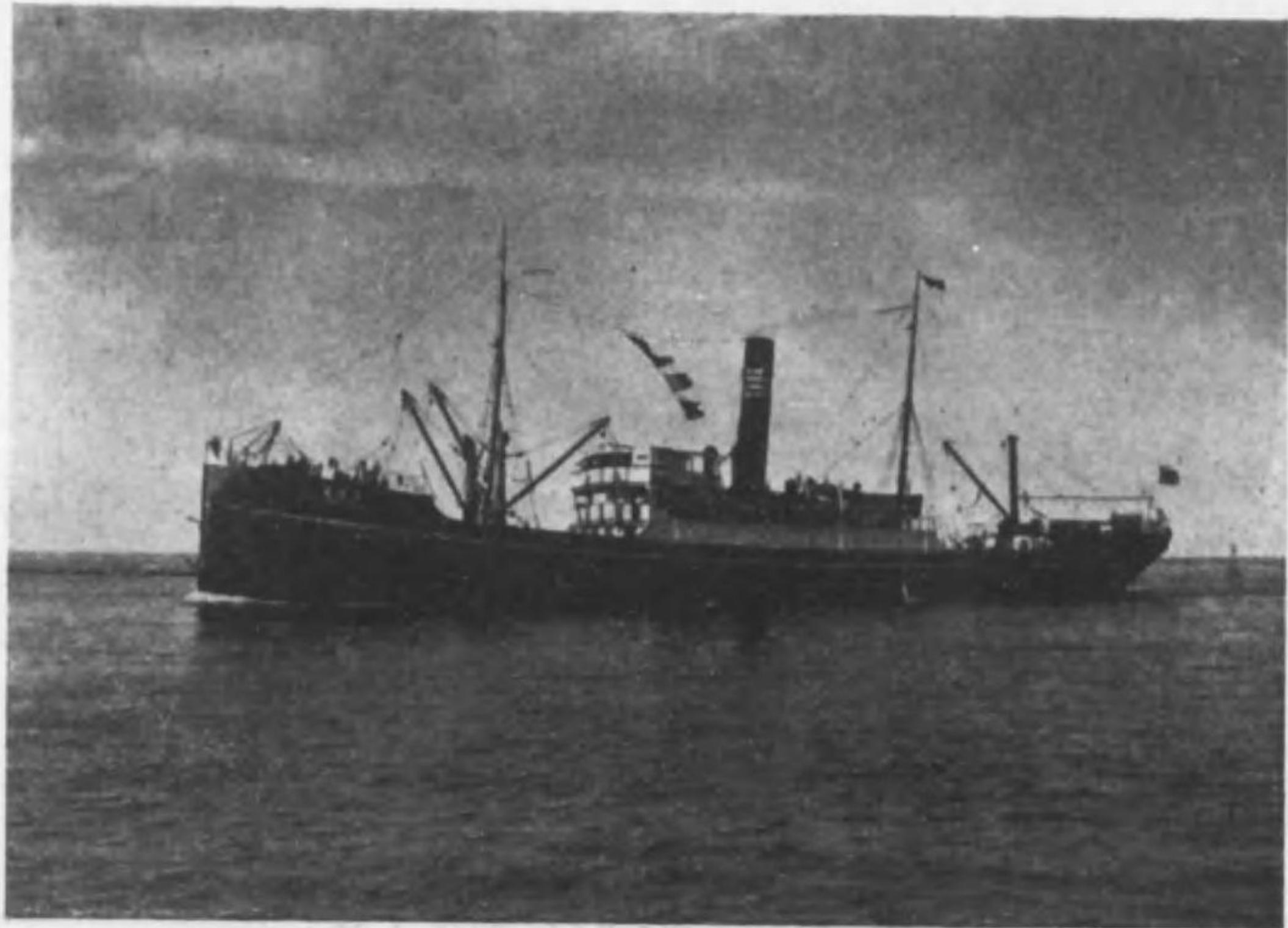
昭和11.11  
(員組乗全と丸草天)



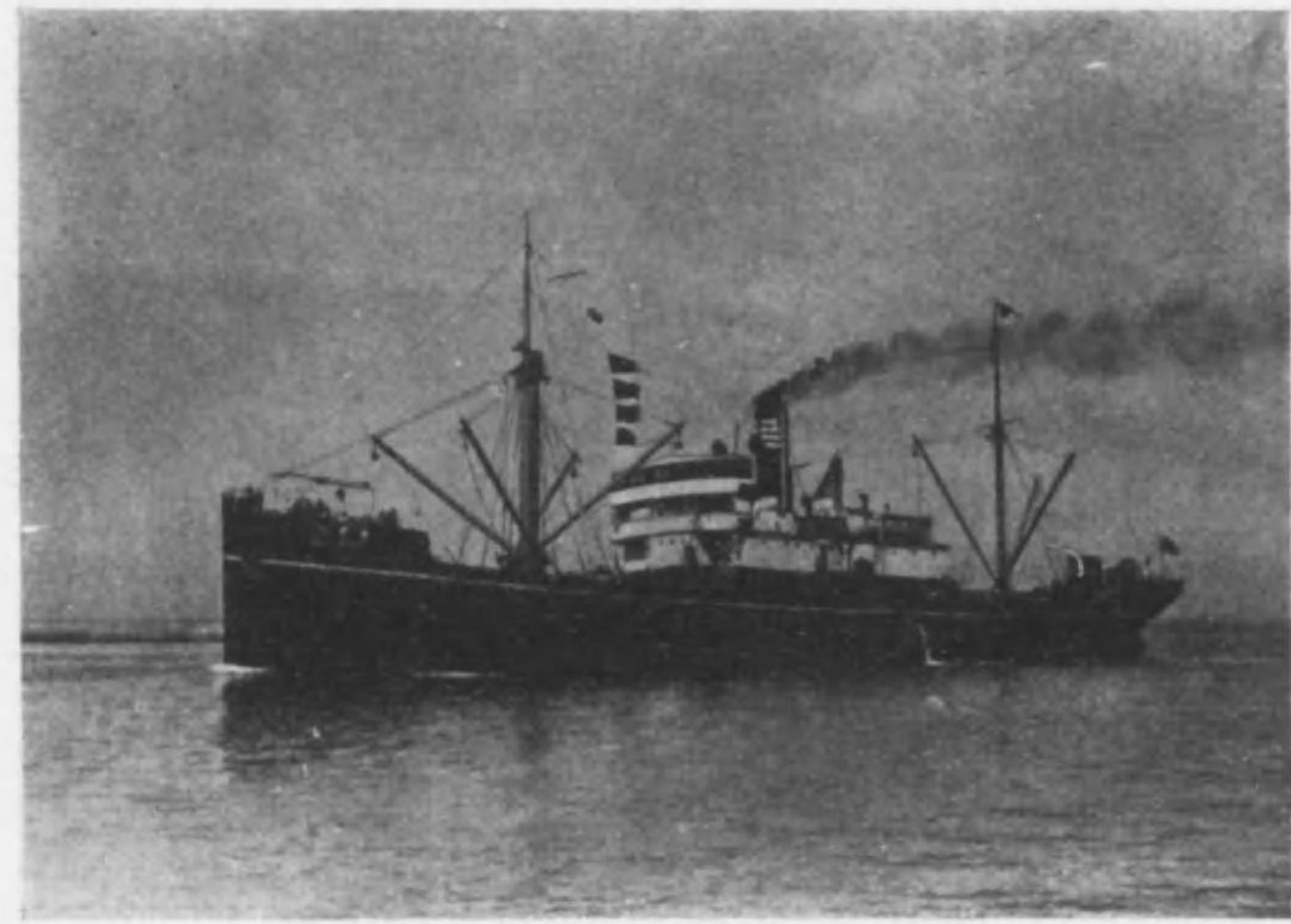
-226-



-225-



昭和11.12 (員組乗全と丸通交)



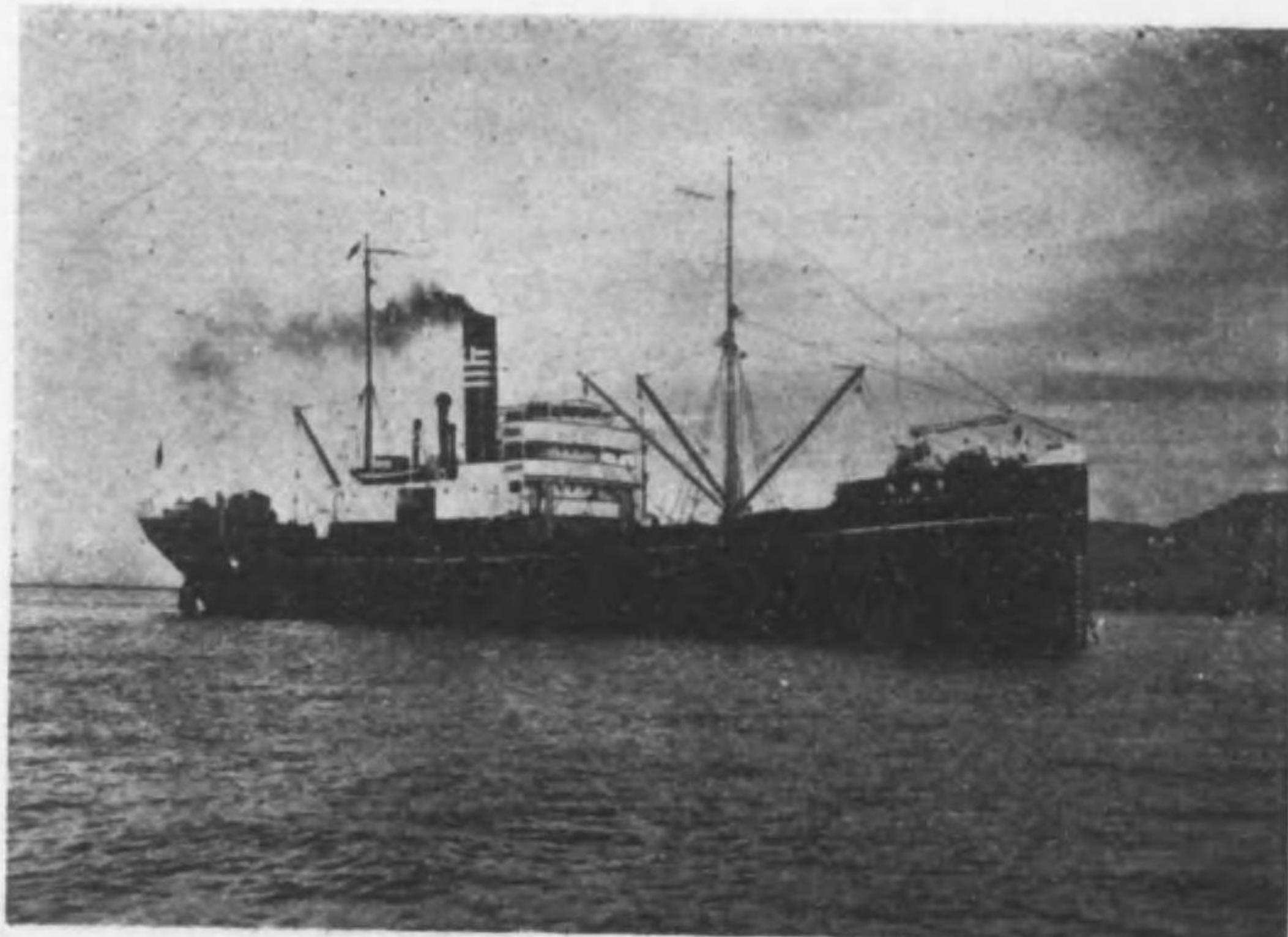
昭和11.11 (員組乗全と丸龍青)



- 228 -



- 227 -



昭和11.11 (員組乗全さ丸徳愛)



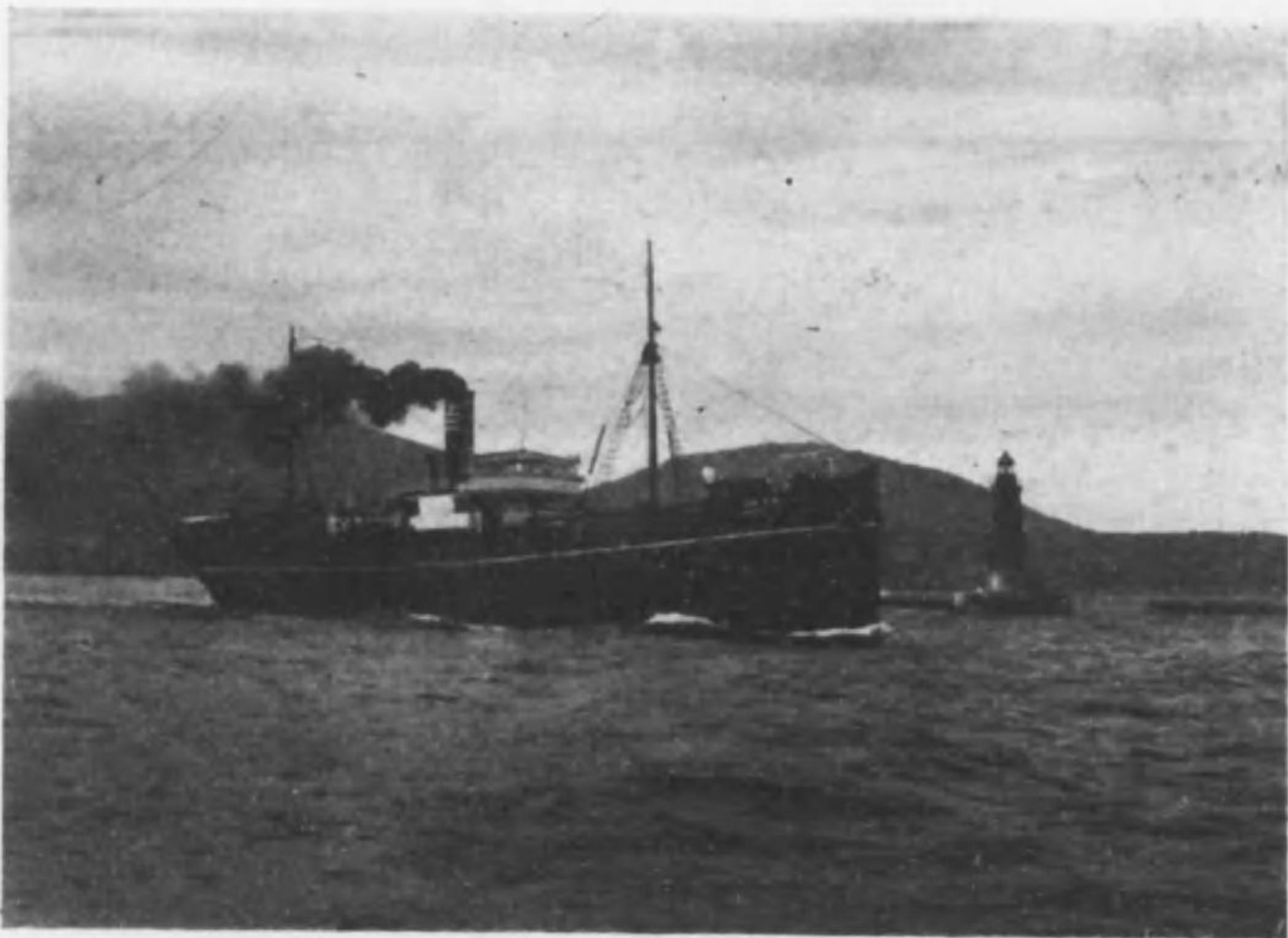
昭和11.10 (員組乗全と九州福)



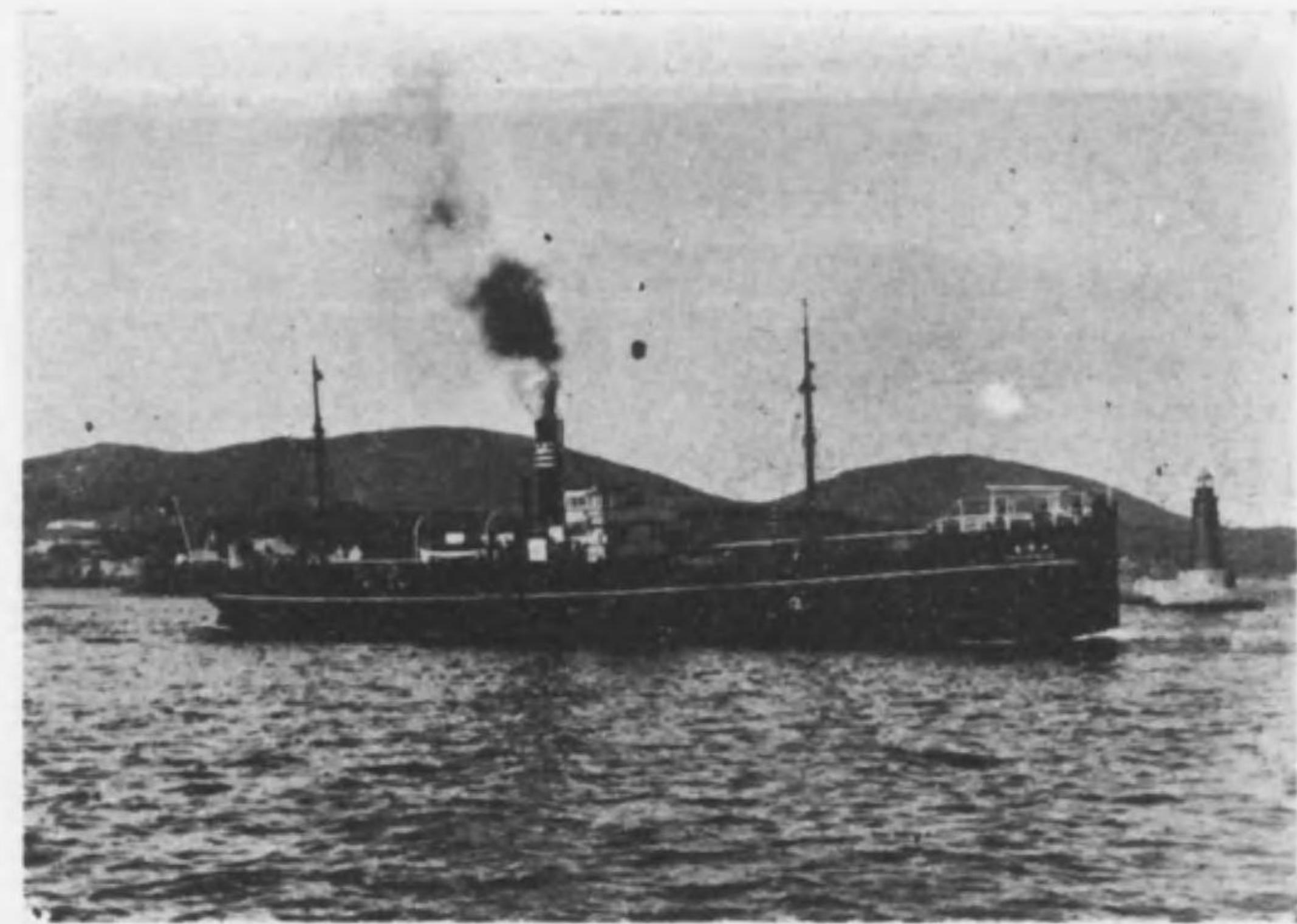
-230-



-229-



昭和11.11 (員組乗全と呂登能)



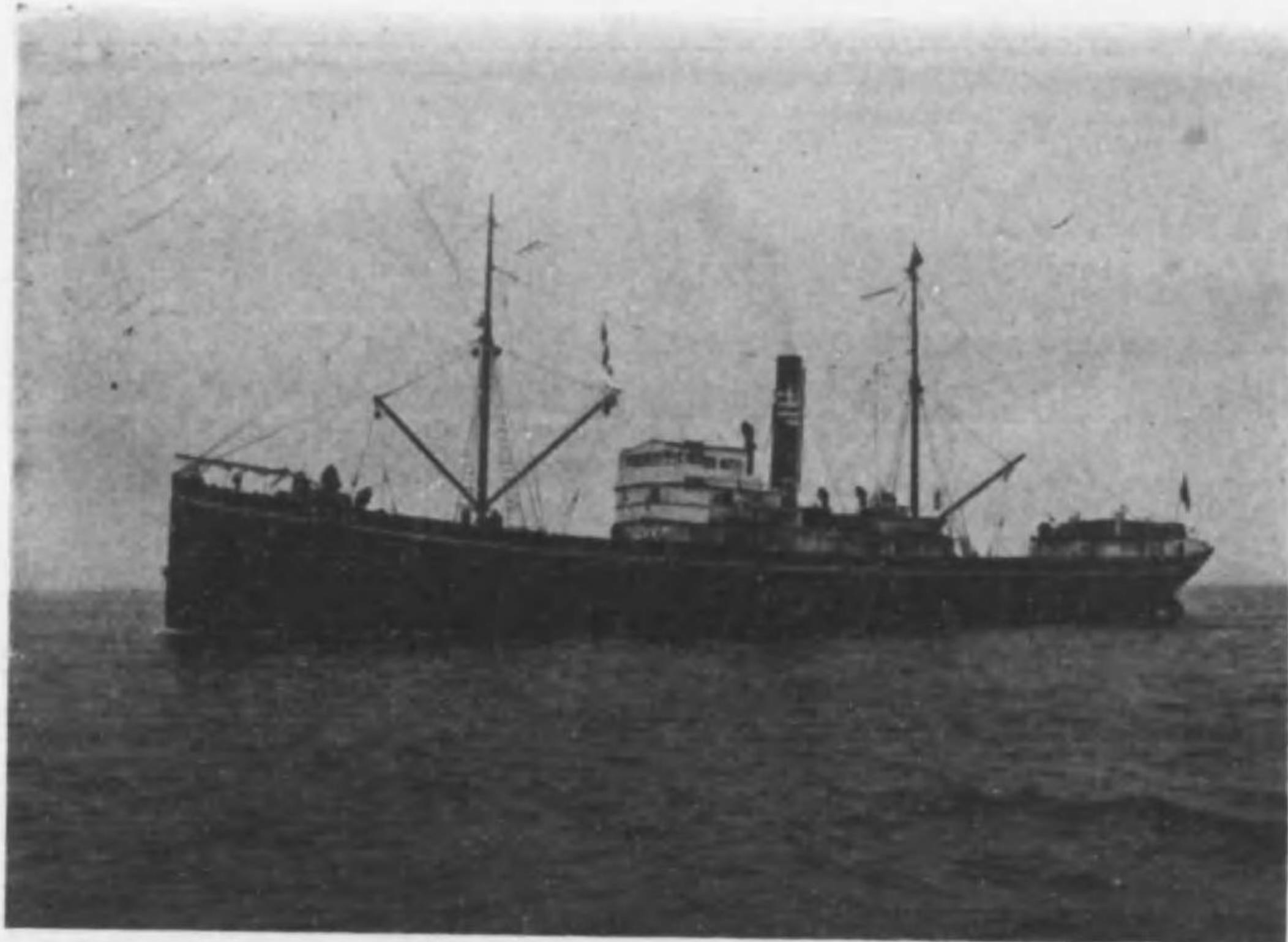
昭和11.10 (員組乗全と海紅)



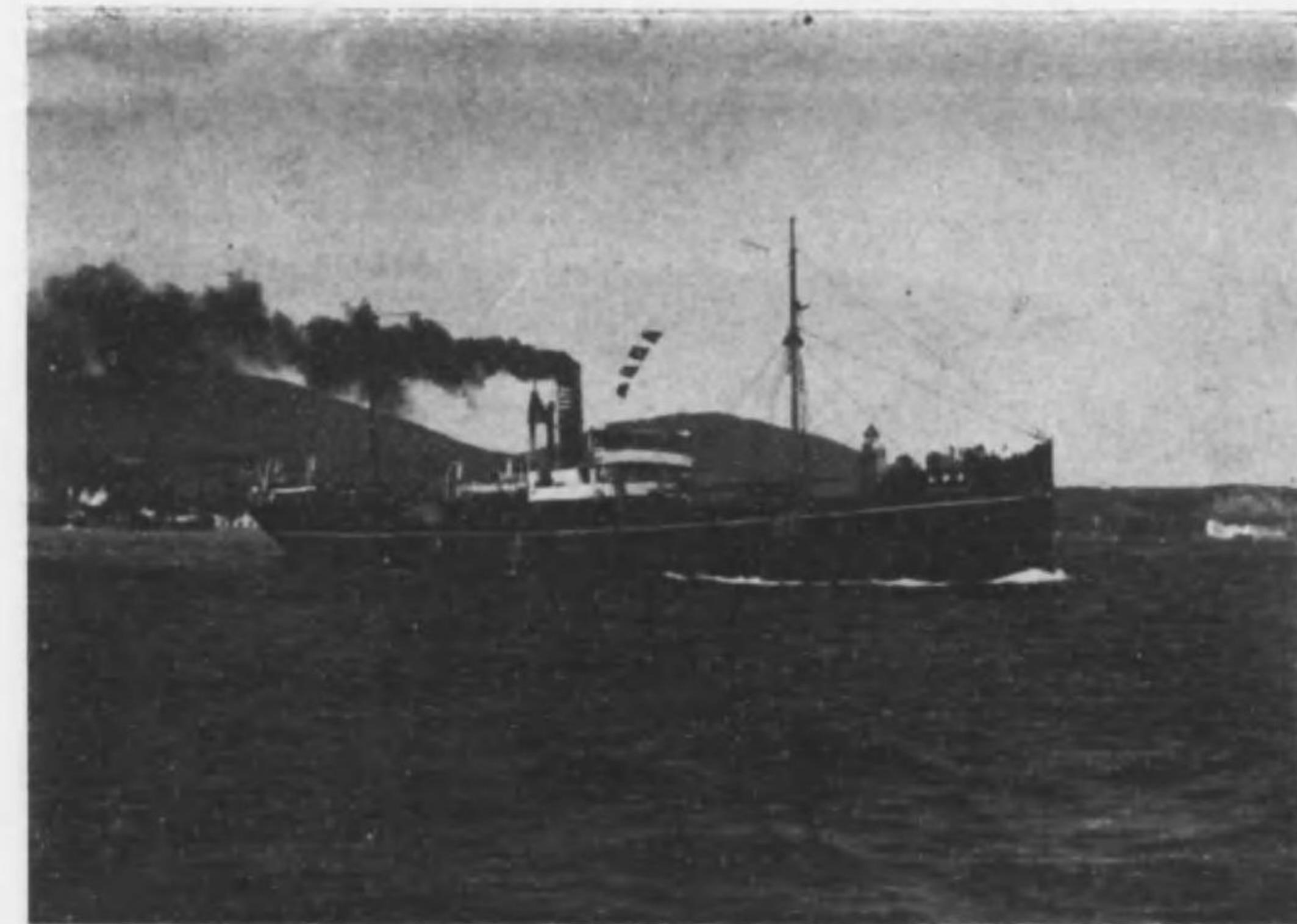
-232-



-231-



昭和11.10 (員組乗全と九州温)



昭和11.10 (員組乗全と丸岡真)



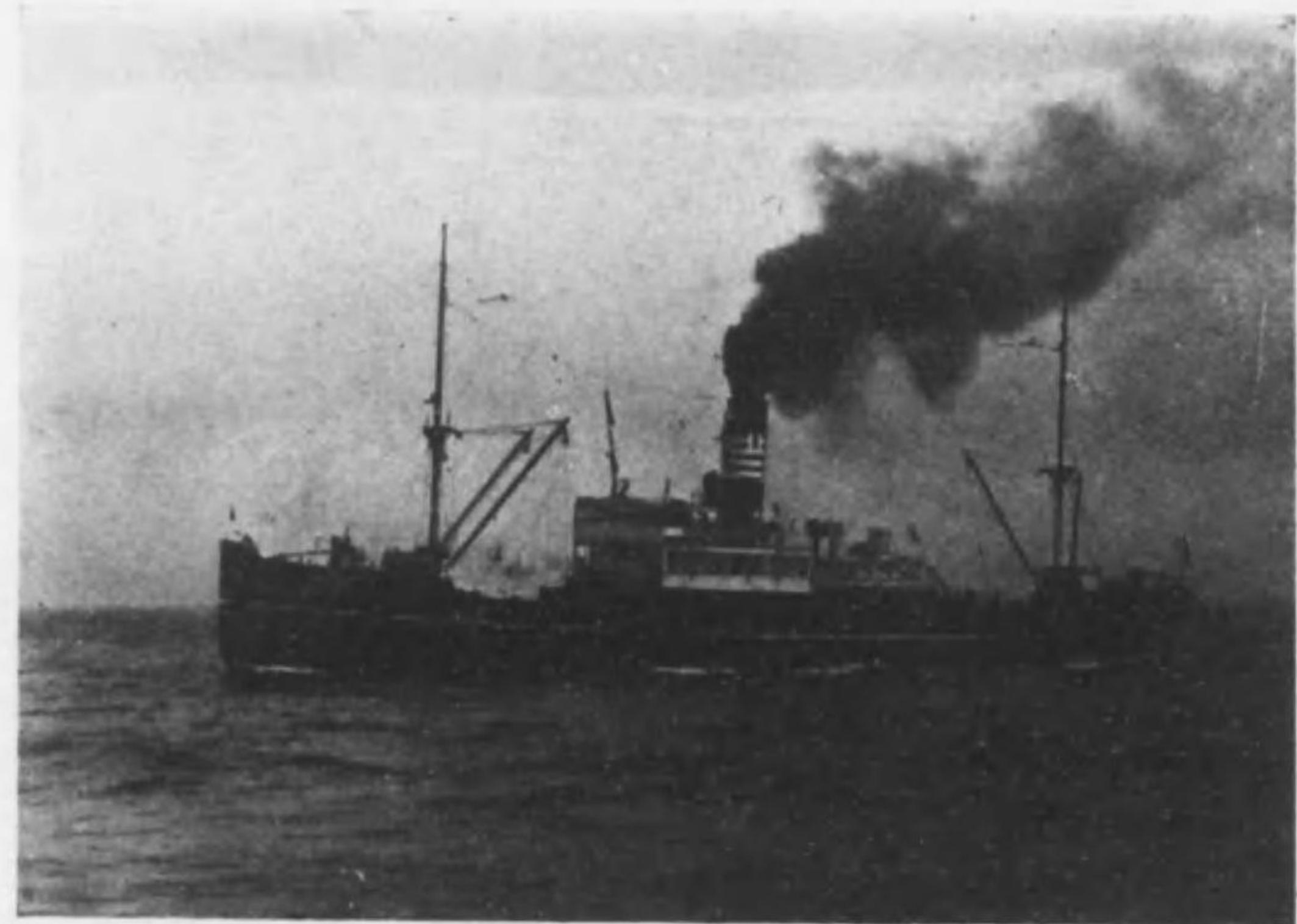
—234—



—233—



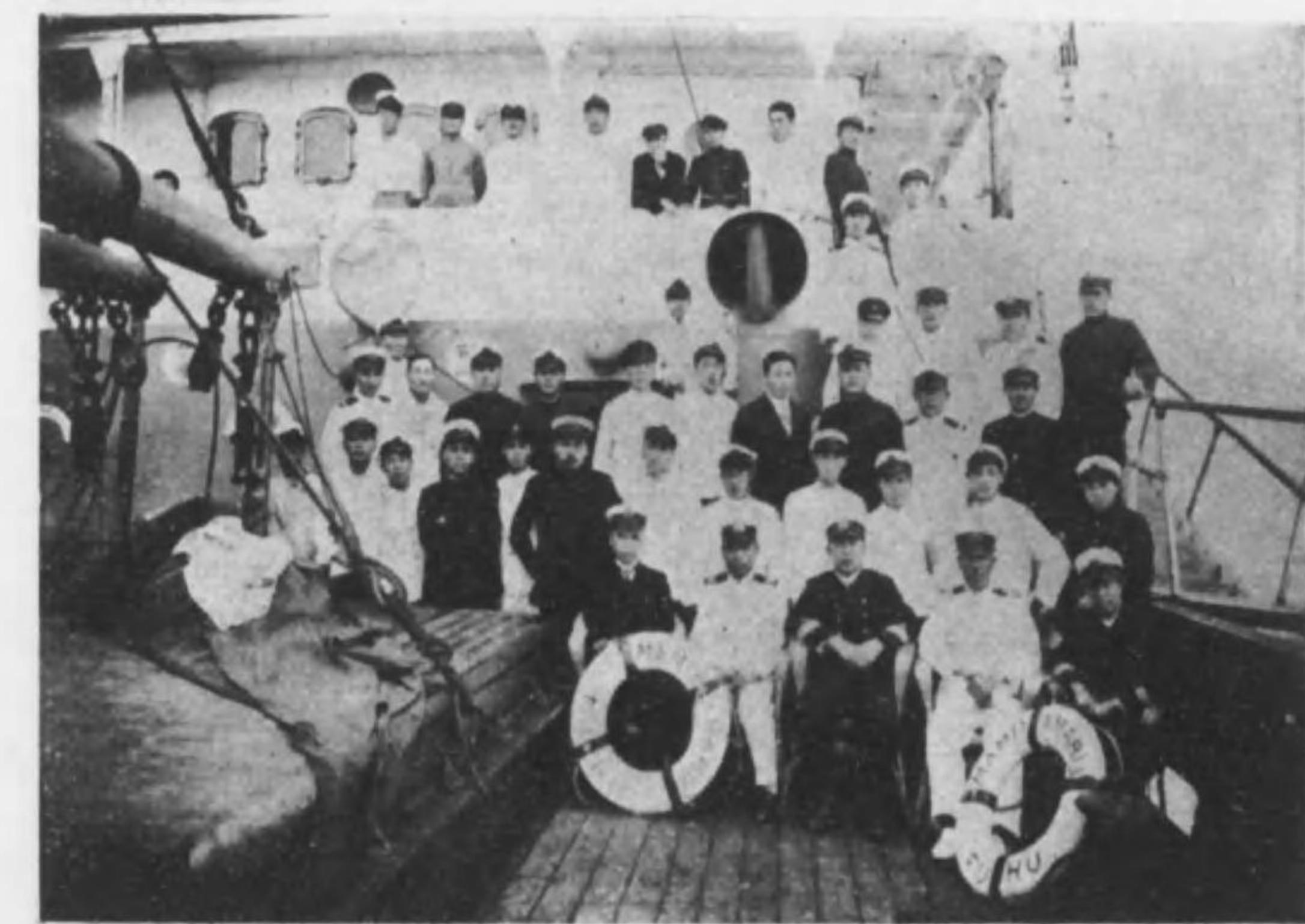
昭和11.11 (員組乗全と丸和海)



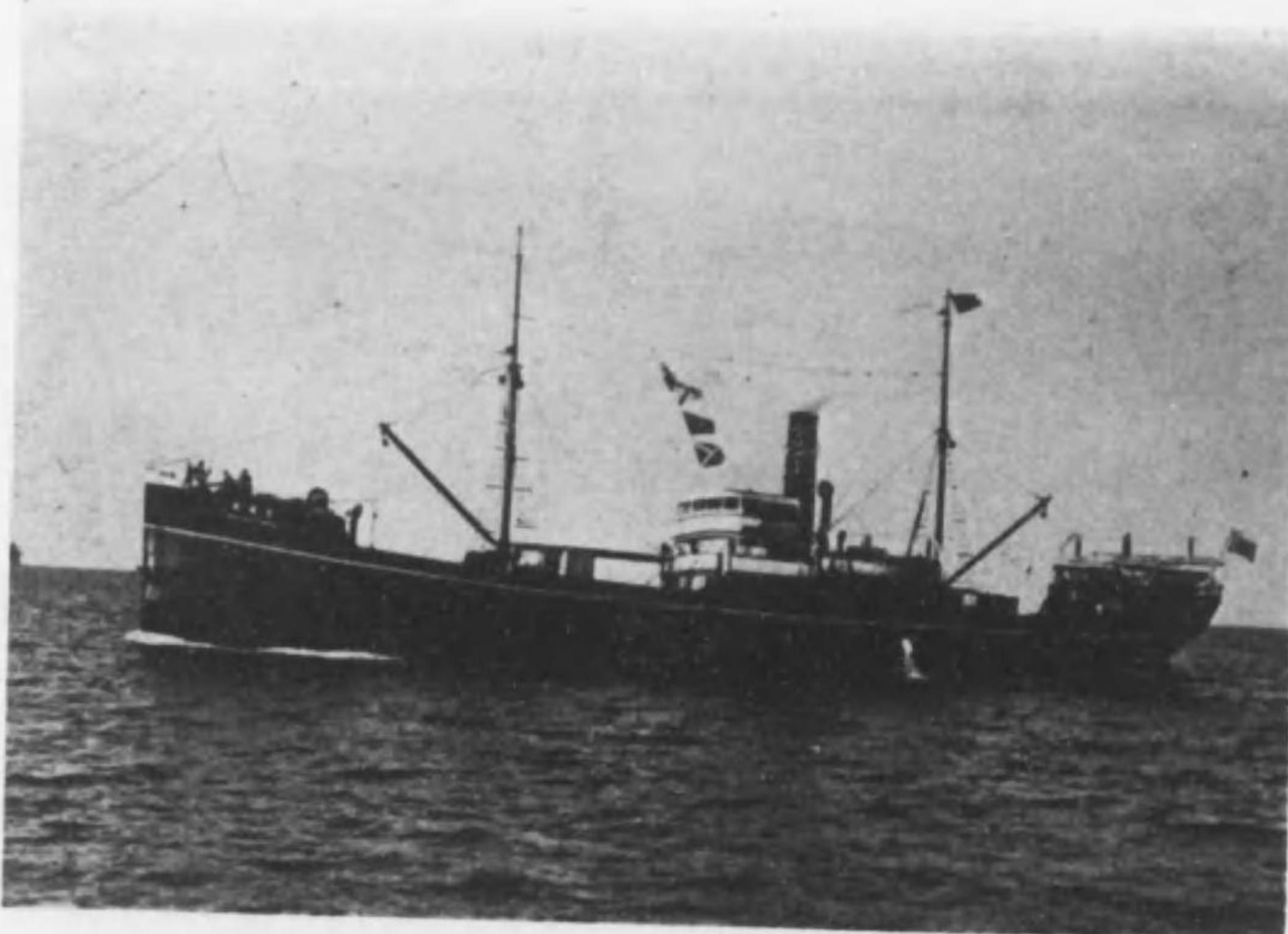
昭和11.9 (員組乗全と丸宮間)



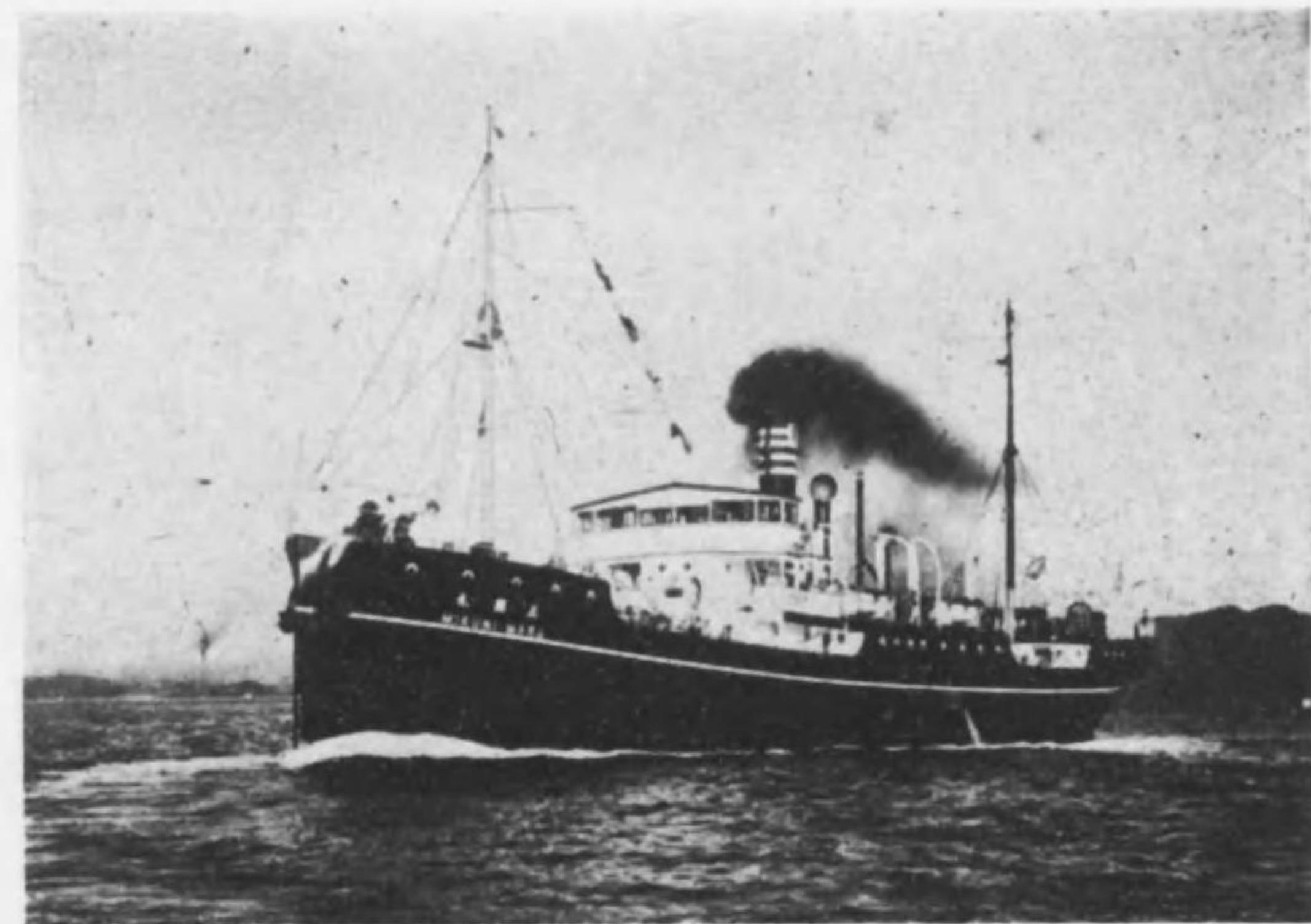
-236-



-235-



昭和11.10 (員組乗全と丸像宗)



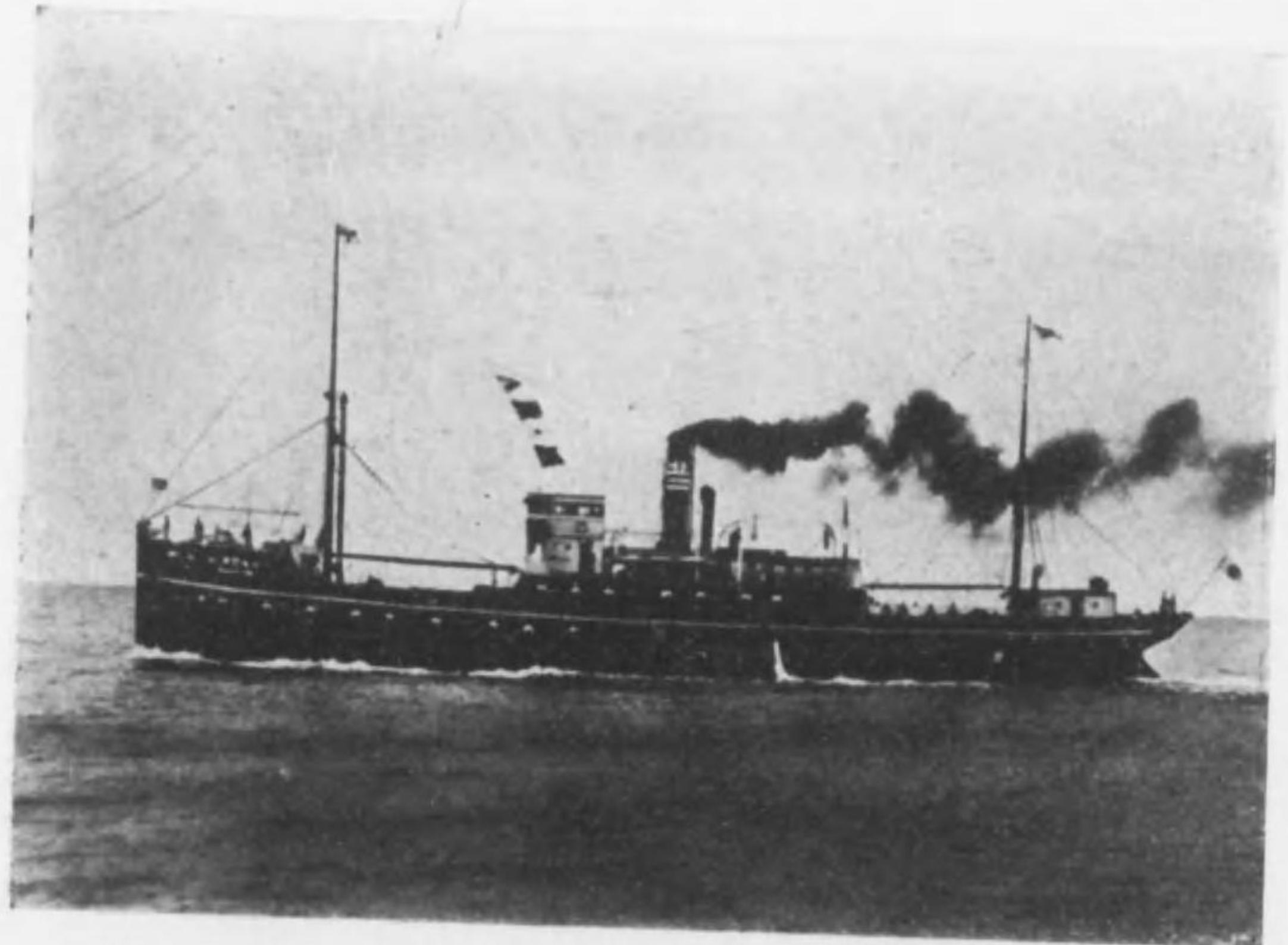
昭和11.10 (員組乗全と丸國三)



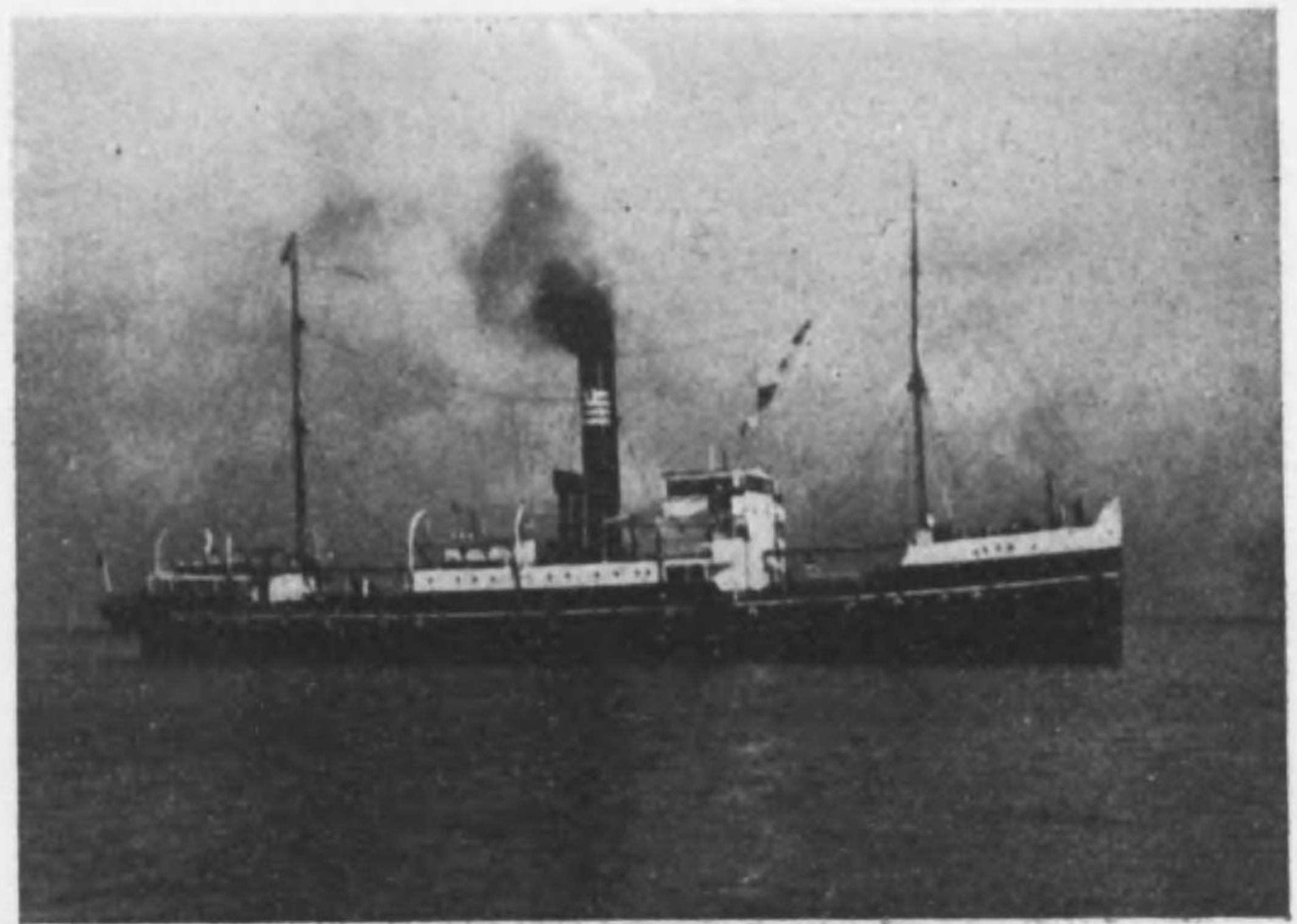
—238—



—237—



昭和11.11  
(員組乗全と丸原豊)



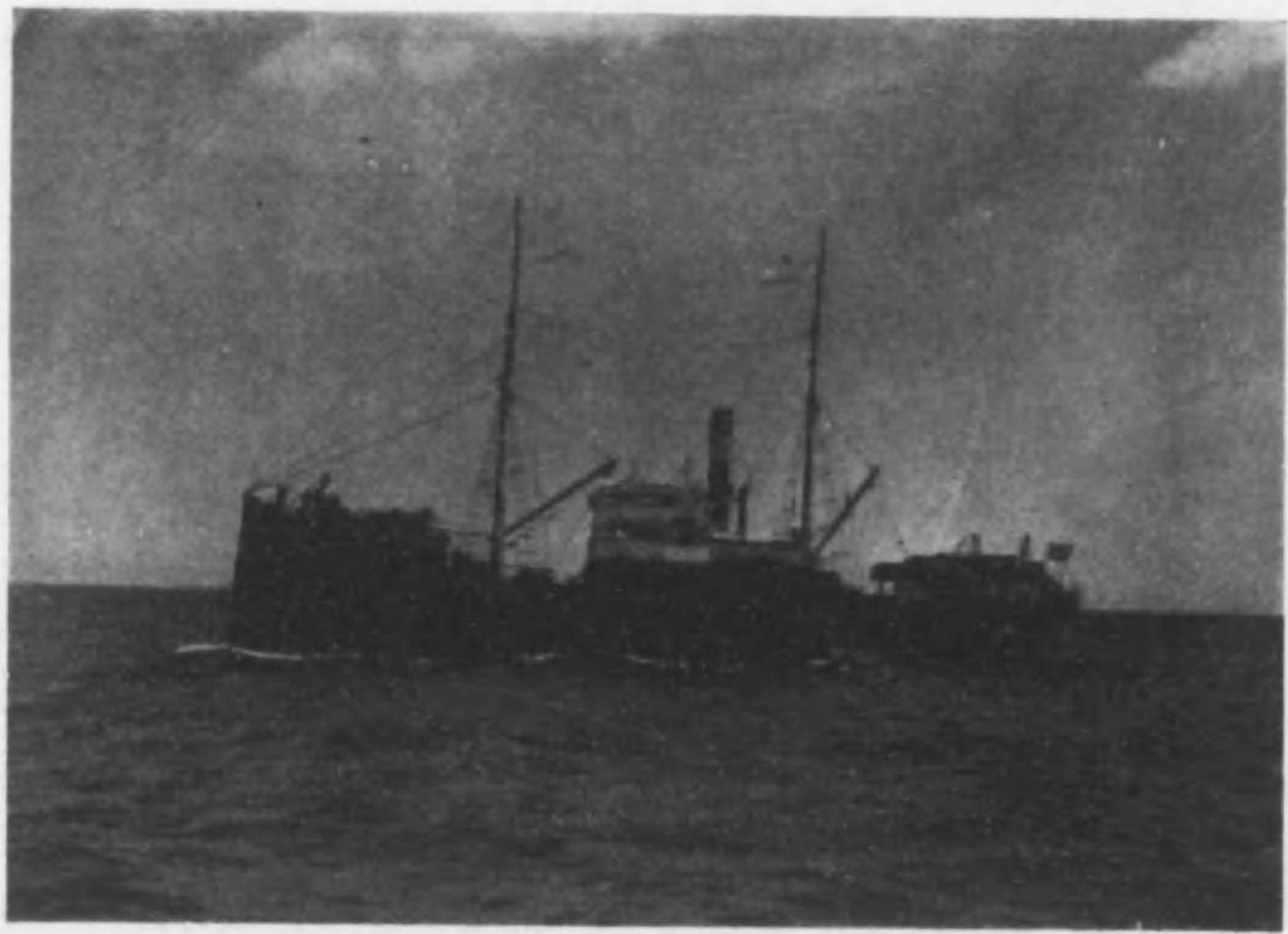
昭和11.12  
(員組乗全と丸谷鈴)



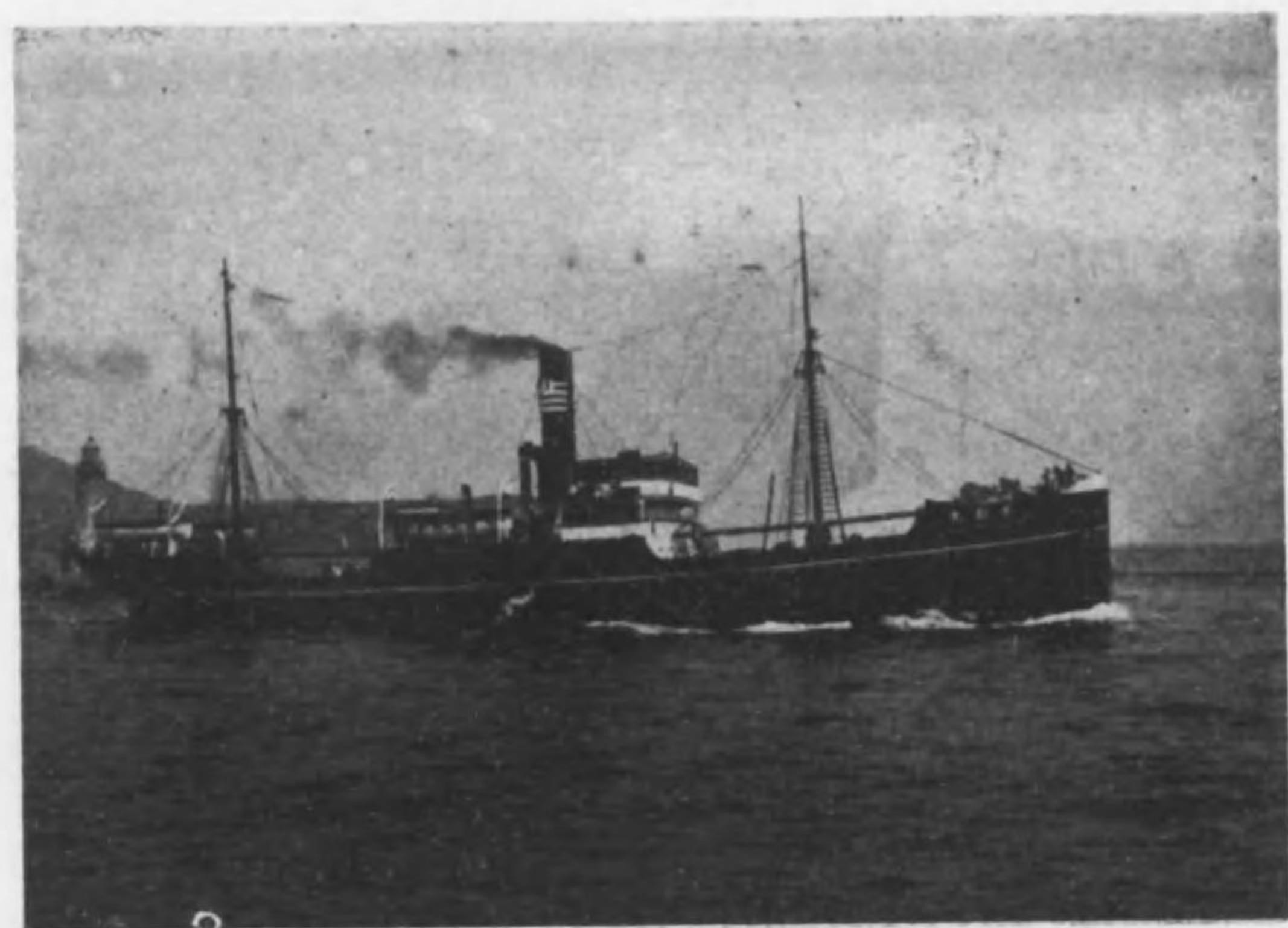
-240-



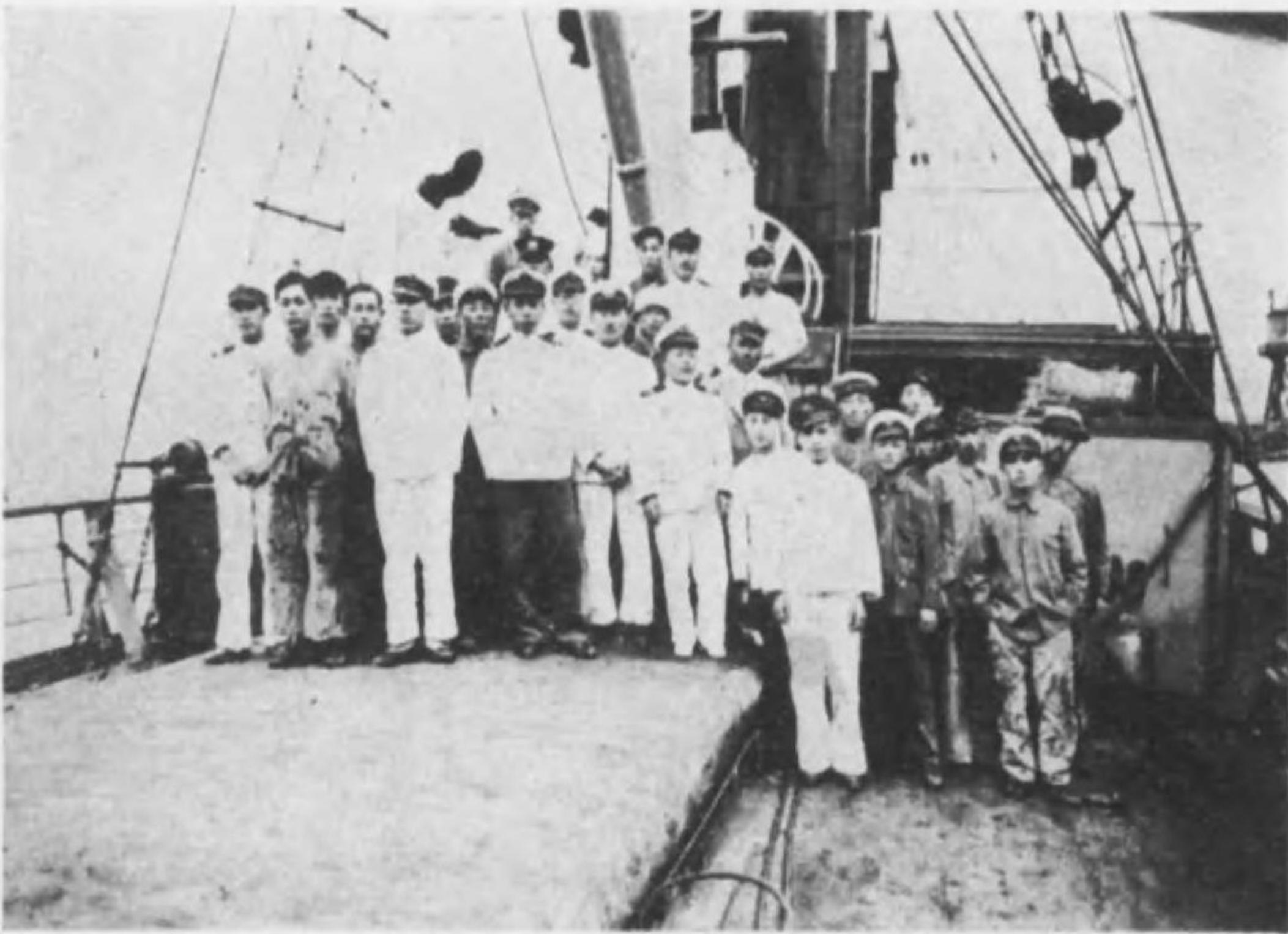
- 239 -



昭和11.10  
(員組乗全と丸佑天)



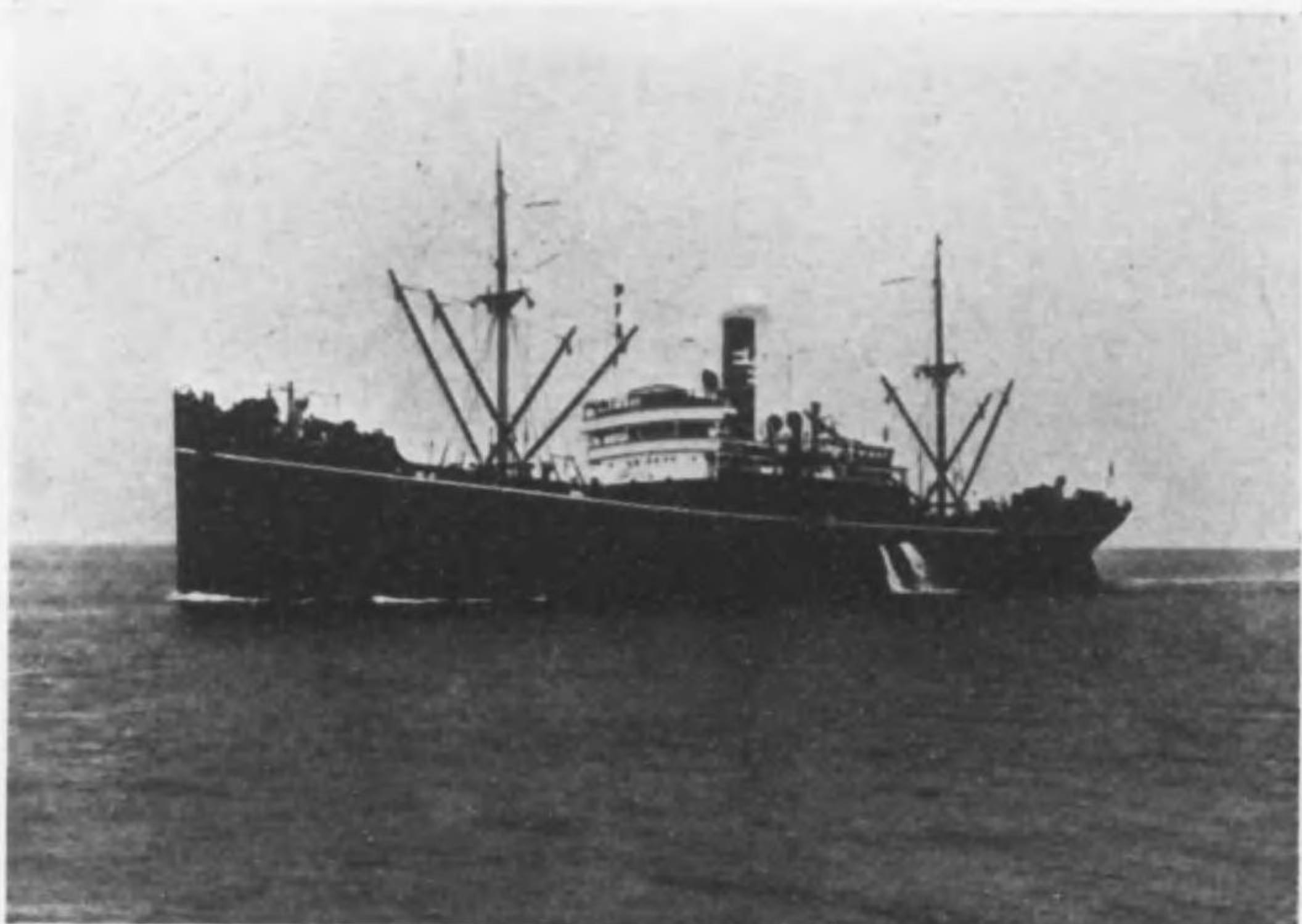
昭和12.1  
(員組乗全と丸福榮)



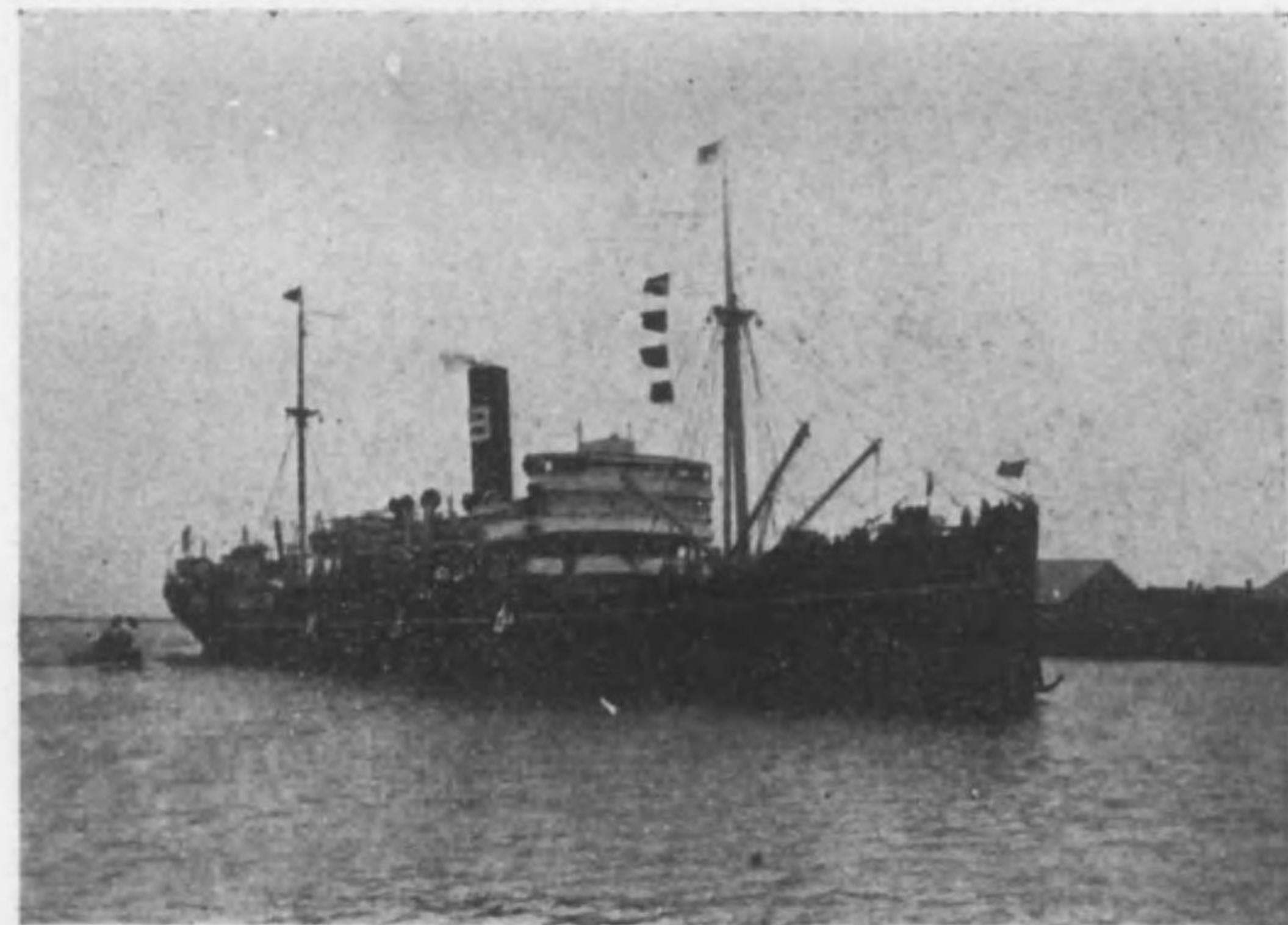
-242-



-241-



(丸 愛 神)

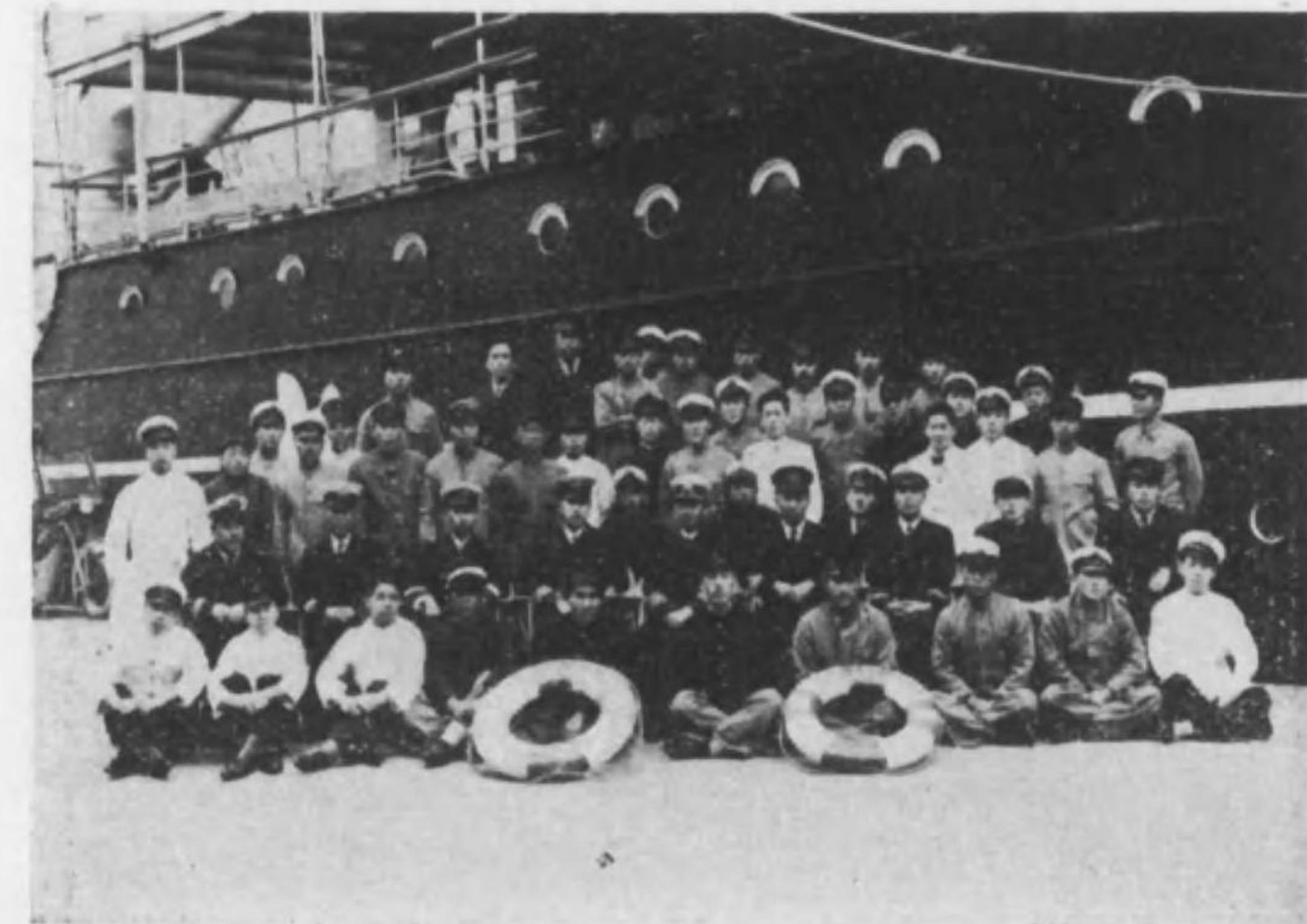


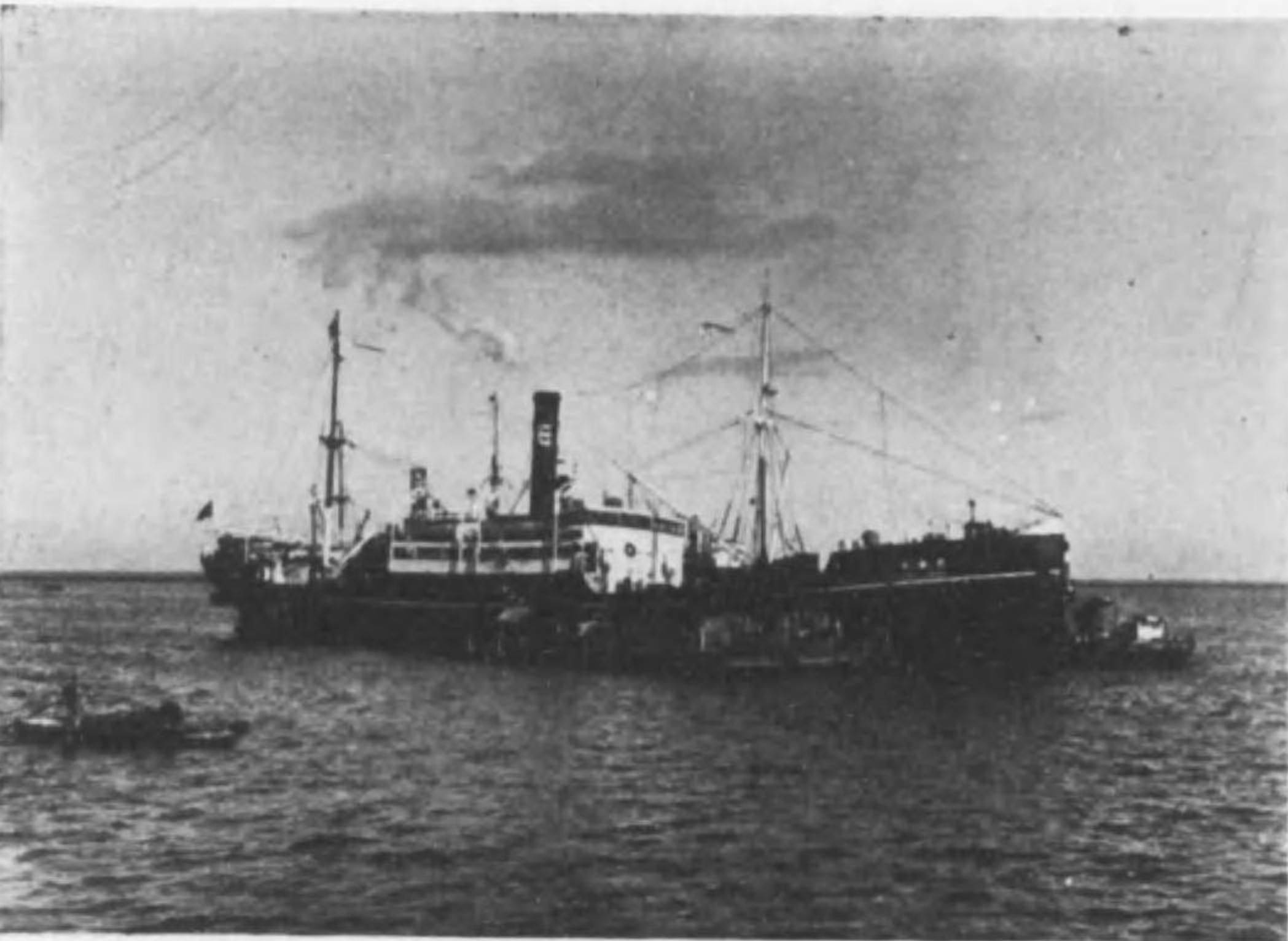
和昭11.11 (員組乗全と丸義嘉)

富山縣魚津町

株式會社 共和組回漕店

電話 { 一五四三番  
四二一五番





(丸 祐 北)



(丸 壽 神)

海員消耗品  
作業服メリヤス  
毛布布團  
北海みやげり  
だばこ・くすり  
月刊雑誌

寺西百貨店

小樽市色内町中央通り桜橋前  
電話一一二七番

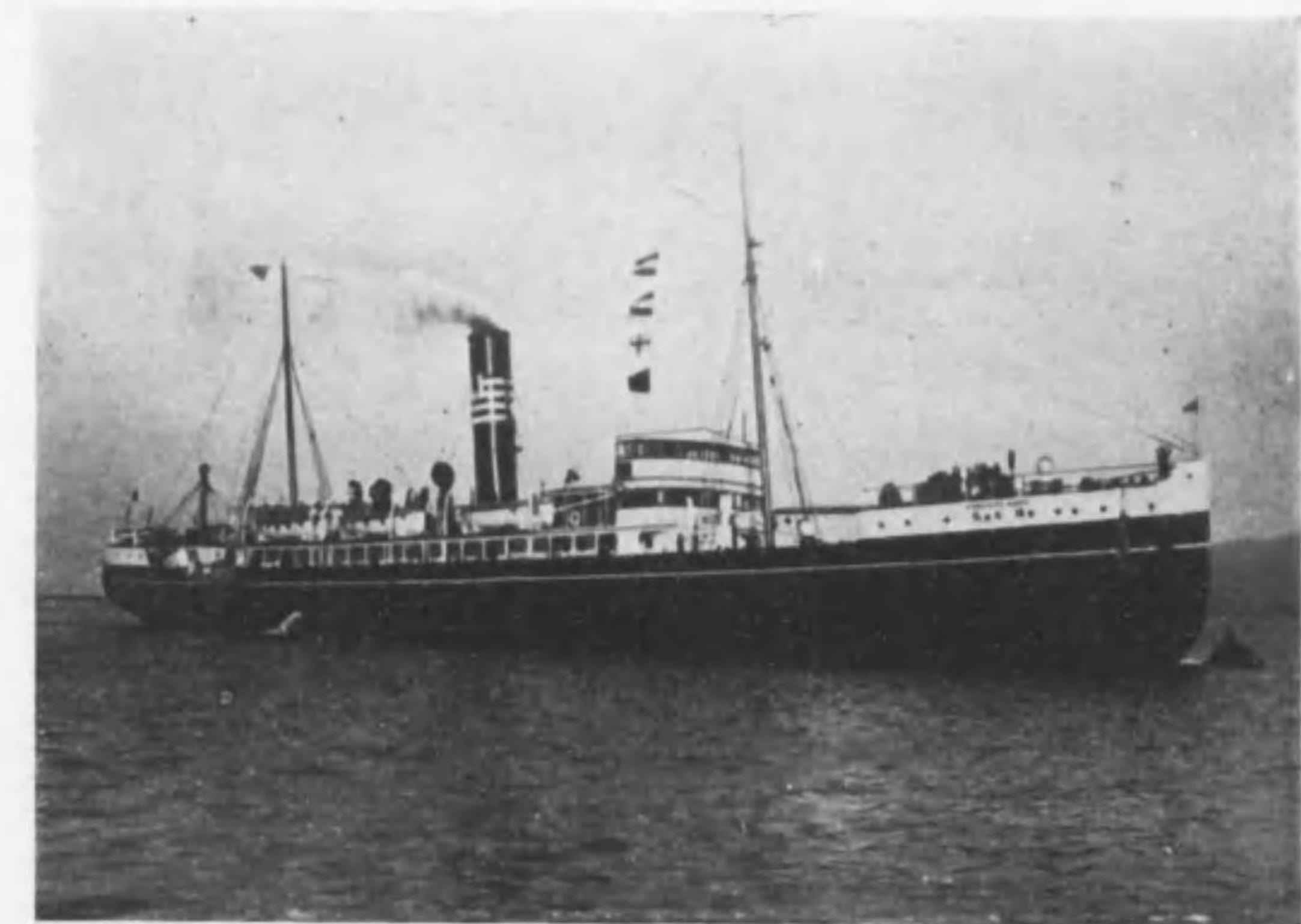
作業服製造  
**岡本作業服店**  
岡本太平  
福井縣敦賀港櫻七  
電話(呼出)四四九番  
振替口座金澤二四七六番

本小樽營業所真岡出張所泊居在勤員  
惠須取出張所  
稚內在勤員  
函館在勤員  
青森出張所  
新潟在勤員  
東京在勤員  
伏木在勤員  
敦賀在勤員  
大阪在勤員

小樽市南濱町四丁目一番地（營業本部）  
樺太真岡町本町一丁目四六  
樺太泊居郡泊居町 泊居回漕店内  
樺太恵須取町南濱町一丁目  
北海道稚内町北濱通四丁目  
函館市仲濱町 共同回漕店内  
青森市新安方町八十三番地  
新潟市綠町 新潟運送解株式會社内  
東京市麹町區内幸町 大阪ビル内  
富山縣伏木港湊 三輪回漕店内  
福井縣敦賀港棧橋 大和田回漕部内  
大阪市北區宗是町 大阪ビル内

北日本汽船株式會社代理店及取扱店  
本社

當初の本店は創立當時の事情により極太丸泊に在りますが事實上の本社は小樽であります



(櫛 太 丸)

# 北都の雄印刷界の霸王

---

一般印刷・諸帳簿・荷札調製

# 双葉印刷所

小樽市花園町東三丁目  
電話三八九二番

清津在勤員

朝鮮清津府北星町

國際運輸支店內

## 代理店及取扱店

尾 宝 神 神 大 大 京 四 名 尘 清 横 甫

古 日

# 道野戸戸阪阪都市屋田水濱京

東京市麹町区内幸町一丁目  
横濱市中區木町住友ビル内  
清水市港町四丁目  
愛知縣半田町  
名古屋市西區船入町  
四日市市高砂町  
京都市梅小路驛前  
大阪市北區宗是町  
大阪市北區曾根崎町  
神戶市江戸町一〇一  
神戸市神戸區海岸通  
岡山縣宇野町  
尾ノ道市四濱町

大阪商船會社支店  
大阪商船會社支店  
青木運送株式會社  
共 同 運 輸 會 社  
愛三商船會社  
愛三商船會社支店  
相互運輸倉庫會社  
大阪商船會社支店  
是則運送店 支店  
是則運送店  
大阪商船會社支店  
豐田回漕店出張所  
豐田回漕店

新西興元元鎮仁群木峯門下觀坂岩宇

# 湖 南 音

浦津南山山浦川山浦山司關寺出國品

廣島市宇品町  
山口縣岩國町  
香川縣坂出町  
香川縣三豐郡觀音寺町  
下ノ關市東南部町  
門司市港町  
朝鮮釜山府大倉町四丁目  
朝鮮木浦府  
朝鮮群山府  
朝鮮仁川府濱町  
朝鮮鎮南浦府  
朝鮮元山府  
朝鮮或鏡南道或洲郡興南  
朝鮮或鏡南道或洲郡西湖津  
朝鮮或鏡南道北青郡新浦

廣昇坂出商船會社  
島地回漕店組  
觀音寺商船組  
大阪商船會社出張所  
大阪商船會社支店  
釜山商船組  
大福澤田恒郎組  
慶木田十郎組  
青藤恒郎組  
朝鮮郵船會社支店  
朝鮮運送會社支店  
富田會社  
北鮮商船組出張所

福 室 兩 八 青 船 土 酒 大 真 小 澤 河 東 新 直

原 江

山蘭館戸森川崎田石野木根田　鴻津

新潟縣中城郡直江津町  
新潟縣新潟市綠町  
新潟縣佐渡郡兩津町夷  
新潟縣佐渡郡河原田町  
新潟縣佐渡郡澤根町  
新潟縣佐渡郡小木町  
新潟縣佐渡郡眞野町  
新潟縣佐渡郡羽茂村大石  
山形縣酒田市船場町  
秋田縣南秋田郡土崎港町  
秋田縣船川港新濱町  
青森市新安方町  
八戶市鮫町  
函館市仲濱町  
室蘭市海岸町  
北海道松前郡福山町

新潟運送解株式會社  
佐渡運送株式會社  
佐渡運送株式會社  
鍋屋回漕店  
眞野運送株式會社  
葛西回漕店  
奥七回漕店  
中川合資會社出張所  
中川合資會社  
青森郵船合資會社  
八戸港運輸會社  
共同回漕店  
栗林商店會  
工藤回漕店

魚滑東伏七福敦新舞墻哈浦雄羅清城

# 岩 舞 爾

# 津川瀬木尾井賀鶴鶴 濱鹽基津津津

朝鮮城津郡城津邑  
朝鮮清津府北星町  
朝鮮羅津邑木町  
朝鮮雄基邑本町  
蘇國浦鹽斯德  
哈爾濱市埠頭區道裡地段街  
烏取縣西伯郡境町  
京都府加佐郡舞鶴町海岸  
京都府加佐郡新舞鶴町  
福井縣敦賀町棧橋  
福井市城町  
石川縣鹿島郡七尾町  
富山縣射水郡伏木町湊  
富山縣上新川郡東岩瀨町  
富山縣中新川郡滑川町  
富山縣下新川郡魚津町

北鮮商船組  
國際運輸會社支店  
國際運輸會社支店  
浦潮商船組出張所  
浦潮商船組  
岡田回漕店  
渡邊回漕店  
二谷運送倉庫會社  
大和田回漕店  
是則運送店支店  
樋爪商事株式會社  
丸米商事株式會社  
藤田回漕店  
共和組回漕店

本內武海淺遠能野敷內泊新知元馬登

意 馬

君羊

斗幌泊島瀨内登頃香路岸間取泊潭帆

樺太元泊郡帆寄村馬群瀬  
樺太元泊郡元泊村  
樺太元泊郡知取町  
樺太敷香郡泊岸村新間  
樺太敷香郡泊岸村  
樺太敷香郡内路村  
樺太敷香郡敷香町  
樺太散江郡散江村野頃  
樺太散江郡散江村能登  
樺太散江郡散江村遠内  
樺太散江郡散江村淺瀬  
樺太本斗郡海馬島村  
樺太本斗郡好仁村武意泊  
樺太本斗郡内幌村

東海運輸株式會社  
東海運輸株式會社  
大鋸回漕店  
樺一新間回漕店  
東海運輸株式會社  
敷香海陸運輸株式會社  
二立回漕店  
江越回漕店  
古木回漕店  
若松回漕店  
海馬島水產會社  
中村回漕店  
內幌運輸株式會社  
本斗海陸運輸會社

真白榮野富大留増小余古岩壽瀨熊江

縫浦濱塞內泊崩毛樽市平內都棚石差

北海道檜山郡江差町  
北海道爾志郡熊石町  
北海道瀬棚郡瀬棚村  
北海道壽都郡壽都町  
北海道古平郡古平町  
北海道余市郡余市町  
小樽市南濱町四丁目  
北海道留萌郡增毛町  
北海道留萌郡留萌町  
樺太大泊港榮町濱通二四  
樺太富內郡富內村  
樺太榮濱郡榮濱村大字野寒  
樺太榮濱郡榮濱村大字東白浦  
代理店樺太榮濱郡白縫村真崎

佐佐島星野回漕店  
都壽汽船株式會社  
由利回漕店  
村上回漕店  
時田回漕店  
株式會社北二組  
増毛運送社  
村田回漕店  
樺太運輸株式會社  
富內運輸商事合資會社  
福藤大高橋回漕店  
山井鋸回漕店  
回漕店  
店

# 編輯室より

愈々出来上りました、待望久しき皆様の誌上親睦機關名鑑錄が事業着手以來既に九ヶ月豫定より意外に發刊が遅れました事は實に申譯ありません、然し御了知の通り陸とは遠ひ繁忙である海上の事とて原稿集取が意の如く運ばず又此の計畫が始めての事であり寫眞版の製作、印刷等時日の豫算違ひもありましたが總て皆様の御了解を求め全篇の内容等充分御期待に添ふ迄でに行き兼ねましたが苦心慘憺の結果編輯も終り、漸く今日完成致しました、責任者として些か苦心もありましたが完成した今日の樂しみと嬉しい氣持を得た事は唯皆様の絶大なる御贊同と御後援に據る事と深く感謝致して居る次第であります。

此の名鑑錄は編者が營利を目的として製作した單なる一冊の眞寫帖に非す、最初發行致しました發刊の趣意書にもありました様に躍進途上にある北日本汽船會社と云ふ一大家族の中の人々がお互に海上生活者であるが故に一堂が會し親しく語り會ふ事が不可能である爲めに一家中の人があり乍らお互の顔さへ知らず他人的に成ることもあるとは何たる事であります、親しみの中には平和あり協力あり和氣肅々たる一致の行動は何事に依らず堅實なる發展が遂げられるのでありますまいかかる機会なきを遺憾とし此の一家の人々の一層の親睦を圖りたい爲めに此の名鑑錄を作製し其の一助とも致したいのが此の目的であります。

大正三年三月創立せられて茲に二十幾數年北日本汽船會社の今日の發展の跡を顧みる時に其間營業

不振或ひは幾多の苦難に逢着した事もありましたが經營擔任者の營業方針と先見の明は違はず又一  
面海上の第一線に立ち只管會社發展のため盡された乗組員諸氏の堅忍不拔の努力と相俟つて社運は  
進展し北に拓け南に延び今日の繁榮を見来る可き日本海の中心時代の現出には完全に其の霸權は當  
社の掌中に歸し絶対に他の會社の追従を許さぬ此の躍進振りは之即ち海陸上下一致協力協心を以つ  
て其責務の遂行が今日を成した原因である事は言を俟たない事實であります。願くば今後共に勞資  
協力一致の表現に據り益々社礎を強固にし其の業務の進展は海運報國やがては日本海を我等の手に  
據り湖水に致せん事を切に望むものであります。

昭和十二年六月二十五日



全篇者木

下卯八

佐賀縣佐賀郡早津江津(出身)

昭和十二年六月二十七日印刷納本

昭和十二年七月五日發行

非賣品

編輯人兼木下卯八

小樽市色内町六ノ二  
小樽市中央棧橋通り

北海船舶寫眞通信社

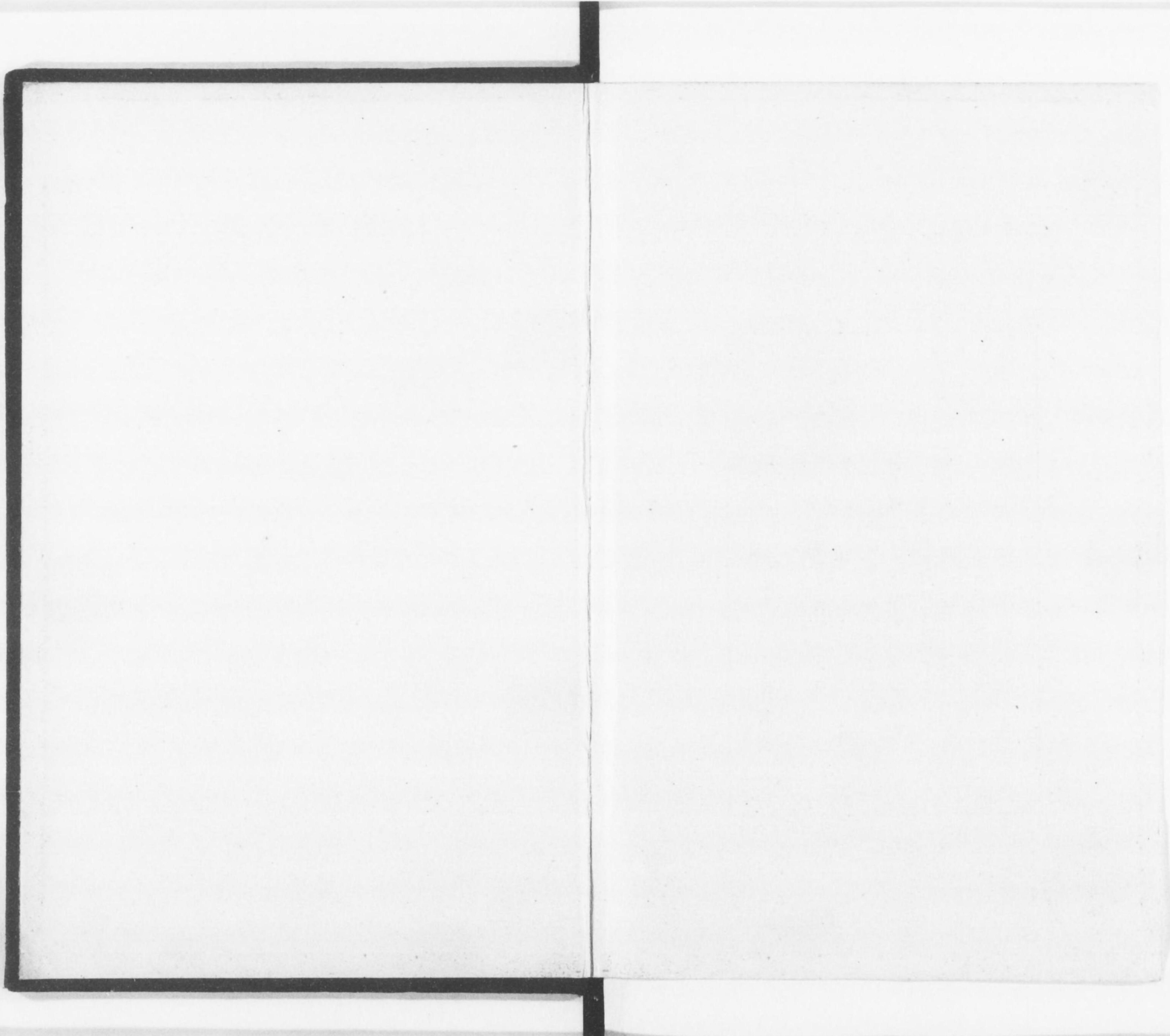
小樽市花園町東三丁目

高橋武夫

印刷人

双葉印刷所

小樽市花園町東三丁目



終

